

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

《目 次》

□平成29年度 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 事業報告…………… 1～ 67

【社会福祉事業区分】

サービス区分名	事業報告 (ページ)
1. 法人運営事業	2
2. 住民会費等事業	17
3. 助成事業	18
4. 共同募金配分金事業	23
5. 総合福祉センター管理運営事業	23
6. 小地域ネットワーク活動推進事業	26
7. ボランティア活動推進事業	31
8. 献血推進事業	35
9. コミュニティソーシャルワーカー配置事業	36
10. 福祉サービス利用援助事業	39
11. 精神保健福祉推進事業	40
12. 生活福祉資金貸付事業	44
13. 住宅改造助成事業調査事務事業	44
14. 乳児家庭全戸訪問事業	45
15. 地域包括支援センター (こもれび) 事業	46
16. 地域包括支援センター (ふれあい) 事業	
17. 居宅介護等事業	51
18. 移動支援事業	53
19. くすの木園 (生活介護) 管理運営事業	55
20. 地域活動支援センター (ゆい) 事業	57
21. 障害者活動支援事業	58
22. 共同生活援助事業	59
23. 介護予防ポイント事業	60
24. 成年後見等事業	61

【公益事業区分】

経理区分名	事業報告 (ページ)
25. 総合福祉会館管理運営事業	62

平成29年度 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 事業報告

少子高齢化の進展や生活困窮問題、個人の価値観やライフスタイルの変化により単身世帯が増加するとともに、地域や家族の支え合いが希薄化し、個人の生活課題や地域の福祉課題が増大しています。

国は、地域での支え合いの基盤として、我が事丸ごと地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立や新たな課題に対応するための施策を打ち出しています。また、社会福祉法が改正され、社会福祉法人に対し、地域貢献活動をはじめとする公益的な取り組みが義務化され、地域福祉の推進のために、社会福祉法人以外にも多種多様な連携が求められています。

こうした中、本会では、変化する課題に柔軟に対応していくために、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を理念に掲げて、「第5次地域福祉活動計画」や「経営戦略プログラム（第3期）」を策定し、関係機関や団体等との連携を密にしながら、次のような活動を重点的に行いました。

1. 組織の基盤強化

(1) 社会福祉法改正による体制整備

社会福祉法人制度の改革に基づき、定款・規程・規則の改正、理事・評議員の選任方法の変更など、公共性が高い組織として、ガバナンスの強化を行いました。

(2) 経営戦略プログラム（第3期）の推進に向けた体制づくり

経営戦略プログラム（第3期）は計画推進1年目であり、27の主な取り組みについて、全職員が目標達成にむけて意見交換を行い、課題の共有化を図ることを目的に、チーム方式による検討を行いました。

(3) 既存事業の見直し等を含めた市担当部署との調整会議の実施

委託・補助事業をはじめとした既存事業の見直し等を含めて、市担当部署と定期的な調整会議を実施しました。

2. 地域福祉活動

(1) アウトリーチ^{注)}による相談支援の強化

生活・福祉課題の早期発見や制度の狭間への対応強化として、地域担当職員「COW（コミュニティワーカー）・CSW（コミュニティソーシャルワーカー）」を統括するスーパーバイザーを配置し、小地域ネットワーク活動の推進や第2層協議体「元気づくり・地域づくり会議」への参加、出張相談所を15ヶ所から20ヶ所に増やすなど、身近な地域でのきめ細かな支援を行いました。

注) アウトリーチとは、困難を抱えながらも相談意欲がない、支援拠点に来れない人などへ、出向いて手をさしのべて、福祉サービス等へとつなぐ手法。

(2) 多種多様な団体との連携強化

市内で福祉施設を運営する社会福祉法人で構成される枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会と共催で、商業施設を活用した出張相談会の実施や施設職員とCSWとの事例報告・交流会を、平成29年度に初めて実施し、地域の支援体制づくりを一層推進しました。

また、よどがわ防災まつりを通じ、行政、企業、NPO法人、大学、労働組合など、多種多様な団体が連携し、災害に関して市民とともに考える機会づくりを行いました。

(3) 多様な担い手づくり

若年層や勤労者等へのボランティア活動の推進のためのアンケート調査を実施。枚方市ボランティアセンターの開所時間等、今後の体制の検討を行いました。

また、企業の定年退職予定者への出前講座や大学の学生との共同企画（よどがわ防災まつり）や情報交換を行いました。

3. 在宅福祉活動

(1) 共同生活援助事業（グループホーム）の移転

消防法の一部改正や利用者の高齢化による建物構造上の問題などを解消するため、早急に改善が求められていた「れいんぼう」について、移転先の選定や整備内容の検証、改修工事を行い、平成30年3月に地域支援センターゆいの隣に移転しました。

その他、事務の効率化としての新たな会計システムの導入や権利擁護に関する事業の推進、災害時の対応、指定管理事業などに取り組みました。

1. 法人運営事業

法人運営事業においては、社会福祉法の改正に伴い、適正な運営を見直すとともに、経営戦略プログラム（第3期）に即した経営基盤の強化に努めた。法人運営の要となる理事会、評議員会の運営をはじめ、専門部会（法人経営部会・地域福祉活動部会・在宅福祉サービス部会）を開催し、積極的に法人経営基盤の充実を図るとともに、地域支援体制などの強化に取り組んだ。

(1) 理事会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
5/25	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・定款の一部改正について ・役員及び評議員の選任等に関する規程の一部改正について ・委員会規程の一部改正について ・費用弁償に関する規程の廃止について ・非常勤役員等の報酬及び費用弁償費に関する規程の制定について ・経理規程の一部改正について ・役員候補者の評議員会提出について ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分及び公益事業区分収入支出補正予算（第1回）について ・評議員会の招集について ・社会福祉充実計画について（報告） ・目的別積立金について（報告） ・経営戦略プログラム（第3期）について（報告） ・会長専決による各種規程の改正について（報告） 	理事 12 監事 1
6/13	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の一部改正について 	理事 12 監事 2
6/13	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長及び常務理事の選任について 	理事 13 監事 2
9/21	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・常務理事の職務執行状況について（報告） ・法人経営部会の報告について（報告） ・定款細則の一部改正について ・決裁規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・常勤役員等の報酬等に関する規程等に関する規程の一部改正について ・個人情報保護規程の一部改正について ・コンピューター情報システムの運用管理に関する規程の一部改正について ・特定個人情報等取扱規程の一部改正について ・資産運用規程の一部改正について ・基金積立金の今後の運用について ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）について 	理事 12 監事 2

		<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会の招集について ・経営戦略プログラム(第3期)の推進・評価体制について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金について ・地域担当職員(CSW・COW)の取り組みについて 	
12/15	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の報告について(2部会) ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分 収入支出補正予算(第3回)について ・共同募金配分金事業平成30年度の配分計画(案)につ いて ・評議員会の招集について ・経営戦略プログラム(第3期)進捗状況について(報告) ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金について(報 告) ・基金・積立金について(報告) 	理事 14 監事 2
12/26	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・給与に関する規則の一部改正について ・再雇用職員の給与等に関する規程の一部改正について 	理事 12 監事 2
3/16	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・常務理事の職務執行状況について ・部会の報告について ・基金・積立金の運用について ・事務局規程の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・再雇用職員の給与等に関する規程の一部改正について ・契約職員就業規則の一部改正について ・ホームヘルパー就業規則の一部改正について ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分 収入支出補正予算(第4回)について ・平成30年度枚方市社会福祉協議会事業計画及び予算 (案)について ・評議員会の招集について ・各種規程の改正について(報告) ・大阪府共同募金会 河原林富美福祉基金配分事業完了 報告について(報告) 	理事 13 監事 2

(2) 部会開催状況

①法人経営部会

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
9/5	ラポールひらかた 研修室4	<ul style="list-style-type: none"> ・基金積立金の今後の運用について ・公募事業助成基金(市民ふくし活動チャレンジ基金)助 成について 	5
12/1	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金配分事業 平成30年度の配分計画(案)に ついて ・成年後見等事業について(報告) ・河内長野市社協災害対応への参加について(報告) 	法人経営 部会 4 地域福祉 活動部会 3
2/28	ラポールひらかた 研修室4	<ul style="list-style-type: none"> ・基金積立金の今後の運用について ・任意監査について 	5

②地域福祉活動部会

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
12/1	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金配分事業 平成30年度の配分計画(案)について ・成年後見等事業について(報告) ・河内長野市社協災害対応への参加について(報告) 	法人 経営部会 4 地域福祉 活動部会 3

③在宅福祉サービス部会

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
12/4	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの移転について ・くすの木園の状況について 	4

(3) 評議員会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/13	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算承認について ・定款の一部改正について ・役員及び評議員の選任等に関する規程の一部改正について ・委員会規程の一部改正について ・費用弁償に関する規程の廃止について ・非常勤役員等の報酬及び費用弁償費に関する規程の制定について ・経理規程の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・役員を選任について ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分及び公益事業区分収入支出補正予算(第1回)について ・会長専決による規程の改正について(報告) ・社会福祉充実計画について(報告) ・経営戦略プログラム(第3期)について(報告) 	評議員 28 理事 11 監事 2
9/29	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・定款細則の一部改正について ・決裁規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・常勤役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・個人情報保護規程の一部改正について ・コンピューター情報システムの運用管理に関する規程の一部改正について ・特定個人情報等取扱規程の一部改正について ・資産運用規程の一部改正について ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算(第2回)について 	評議員 26 理事 12 監事 2
12/26	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会の権限について(報告) ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算(第3回)について 	評議員 27 理事 12 監事 2

3/27	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分 収入支出補正予算（第4回）について ・平成30年度枚方市社会福祉協議会事業計画及び予算 (案)について ・各種規程の改正について（報告） 	評議員 28 理事 14 監事 2
------	------------------	--	----------------------------------

(4) 枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第3期）（H29年度～H33年度）

計画1年目であり、27の主な取り組みに対し、13のチームを作り、リーダーを置き、全職員が何らかの関わりを持って進めていく体制をつくった。

平成29年度は各取り組みについて、チーム内での共有化や分析・検証が中心であったが、新ボランティアグループの結成や事務効率化のための新たな財務会計システムの導入、組織のイノベーションとしての職員による提案および企画化の仕組みづくり等を行った。

(5) 第5次地域福祉活動計画（H27年度～H31年度）

ふくしのまちづくり円卓会議

「第5次地域福祉活動計画」の進行管理を目的として、「ふくしのまちづくり円卓会議」（9/19・2/28）を開催し、計画の進捗状況や事例報告（①よどがわ防災まつりの取り組みについて②CSWの取り組みについて）、評価、課題の整理及び意見交換を行った。

(6) 公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成事業

市民が自らの力で問題を解決していくことを支援するため、平成30年度公募事業助成基金「市民ふくし活動チャレンジ基金」の助成団体を募集。ステップアップ助成の申請が1件、継続助成の申請が1件であった。

選考委員会での書類審査およびプレゼンテーションを実施した結果、1件のステップアップ助成団体、1件の継続助成団体を決定した。

(単位：円)

助成決定団体	内 容	金 額
枚二校区コミュニティ協議会 (ステップアップ助成)	「枚二オレンジのわ：指南書(仮称)」の作成をする際には、関係機関との連携を図りながら理解者、協力者の活動について検討すること。	300,000 (3年間)
宮之阪中央商店街振興組合 (継続助成)	「チカラのみせ処 官ノサボ」を拠点に高齢者支援、児童・子育て支援、困難を抱える若者および引きこもり者への支援などの取り組みについて「みやさが通信」を発行し、地域住民や商店街など、広く周知することを目指す。	200,000 (2年間)

(7) 広報活動

①社協だよりの発行

(単位：部)

号	発行日	配布部数	号	発行日	配布部数
136	6/1	185, 926	137	9/1	185, 048
138	12/1	185, 132	139	3/1	185, 166

※年4回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

②社協紹介リーフレットの配布

社協の役割と実施事業をより市民にわかりやすく広報するために、リーフレットを作成。リーフレットは、関係各団体や住民会員募集時の自治会長、視察対応時等で配布した。

③社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行った。

【アクセス件数 21,456 (H29.4.1~H30.3.31)】

(8) 第7回 ひらかた社協ふくしフェスティバル

「第7回 ひらかた社協ふくしフェスティバル」を開催。本会が実施する各種事業の紹介やボランティア活動、福祉団体の活動を広く市民に広報するとともに、多くの市民のみならず「出会い・つながり・広がる」を合い言葉に各種催しを行った。

(日 時) 平成29年11月11日(土) 午前10時~午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市社会福祉協議会 (後 援) 枚方市

(参加者) 約1,300人

(内 容) *カブラワークショップ

*枚方市少年少女合唱団、枚方市ひとり暮らし老人会「赤いベレー」による福祉コンサート

*福祉用具展示・体験コーナー

*模擬店および枚方社協啓発コーナー

*ボランティアグループ、各種団体の活動紹介 等

(9) 第38回枚方ふれあいフェスティバル

『笑顔でタッチ!ふれあうよろこび!』をテーマに障害のある人・ない人が共に手を取りあい、楽しく過ごしてもらえる場になるように、枚方ふれあいフェスティバル実行委員会との共催で開催した。

(日 時) 平成29年6月4日(日) 午前10時~午後3時

(場 所) 枚方市民会館大ホール・岡東中央公園一帯

(参加者) 約3,500人

(主 催) 枚方ふれあいフェスティバル実行委員会、枚方市社会福祉協議会

(後 援) 枚方市、枚方市教育委員会、北大阪商工会議所、枚方フェスティバル協議会

(内 容) *映画会 「ペット」

*設ステージ(ダンス、ライブ、コーラス、ジャグリング、手話コーラス、その他)

*人形劇、ふれあいクッキー教室(市民会館)

*野外テント等での催し、各団体の活動紹介、相談コーナー、模擬店、その他

*企画コーナー、子ども広場、造形教室(紙すき・木工) 他

(10) 第29回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、『こころもからだも健やかに みんなでのおそう健康寿命』をテーマに、市民の健康・医療と福祉に対する意識の高揚を図り、自ら健康づくりを実践する機運を高めることを目的に、「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

(日 時) 平成29年10月22日(日) 午前10時~午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会

(枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、枚方市、枚方市社会福祉協議会)

(後 援) 枚方市教育委員会

(参加者) 延べ7,002人

(内 容) *体験型講座

*「健康を考えるポスターコンクール」作品展

*ノルディックウォーキング体験

*歯の検診コーナー、8020達成者表彰、健康医療相談、各種検診、診断、測定など

*からだど自然の恵み(薬草の展示と健康茶の試飲等)

*模擬店(福祉団体・福祉事業所・福祉施設が出店)

*ボランティア相談コーナー *手作りおもちゃのコーナー

(11) 善意銀行事業

善意銀行金銭口座収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,868,934	指 定 預 託	福祉施設団体等
一般預託	0		
指定預託	30,000		
預金利息	27		
計	4,898,961	計	30,000

収入・支出残金 4,868,961円は、次年度へ繰り越し。

(12) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

地域住民の身近な相談相手や関係機関へのつなぎ役として、民生委員児童委員と主任児童委員が地域福祉を推進、円滑に地域で活動が行えるよう民児協の運営を支援した。

本年度は民生委員児童委員（方面委員）制度100周年を迎え、枚方市民生委員児童委員100周年記念大会の開催や記念誌の発刊、枚方市へ時計塔の寄贈などを行い、また民生委員児童委員の活動を広く周知し認知度の向上と将来の担い手確保を図るため、府が実施する「民生委員・児童委員活動の見える化プロジェクト」へ参画を行った。

実施日	事業内容
4月 1日	民児協ひらかた第133号発行
	子育てマップ2017発行
4日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 新任民生委員児童委員研修会（枚方市） 高齢者福祉部会研修 テーマ：「応急講習」講 師：枚方市消防団女性分団
5日	児童福祉部会相互研修 「育児教室について」子育て運営課 職員
7日	生活福祉部会研修 テーマ：「生活福祉資金貸付制度について」 講 師：社会福祉協議会 地域福祉課 職員
11日	子育てサロン「ゆりかご」（香里・五常）
13日	役員会・校区委員長会・100周年記念時計塔寄贈式典
20日	障がい者福祉部会 視察研修「バリアフリー2017」インテックス大阪
第4週	地区委員会（14地区）
5月 1日	会計監査 子育てマップエリア別情報紙発行 生活福祉部会研修 テーマ：「日常生活自立支援事業について」 講 師：社会福祉協議会 地域福祉課 職員
2日	高齢者福祉部会研修 テーマ：「地域包括支援センターについて」 講 師：地域包括支援センターこもればい 職員
8日	主任児童委員連絡会管外研修「児童養護施設 あおぞら」
9日	子育てサロン「ゆりかご」（牧野・西牧野・中宮北） 障がい者福祉部会研修 テーマ：「車いす体験」講師：枚方市ボランティアセンター 職員
11日	役員会・校区委員長会・總會（決算・事業報告） 「児童福祉週間」啓発活動
12日	第68回大阪府民生委員児童委員大会〔大阪国際交流センター〕

19日	認知症徘徊見守り訓練を市内45校区で実施
26日	枚方市民生委員児童委員100周年記念大会・研修〔枚方市民会館〕 テーマ:「民生委員・児童委員における対人援助技術とは」 講師:植田 寿之 氏
第4週	地区委員会(14地区)
6月 1日	障がい者福祉部会管外研修「滋賀県立むれやま荘」
2日	生活福祉部会主催 全体研修 テーマ:「生活困窮者等への就業支援について」 講師:ハローワーク枚方 職業相談部門 藤本 博一 氏
5日	主任児童委員連絡会(関係機関)研修 「保健センター保健師との交流研修」保健センター 職員〔保健センター〕
7日	児童福祉部会管外研修「和泉乳児院」
26日	児童福祉部会ひよこ広場 春コース(未熟児教室)1回目〔保健センター〕
8日~9日	地区リーダー管外研修(鳥取県倉古市民児連協との交流研修)
13日	子育てサロン「ゆりかご」(明倫・中宮)
26日	倉敷市民児協との交流会
第4週	地区委員会(14地区)
7月 4日	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン参加協力 高齢者福祉部会視察研修「サービス付き高齢者向け受託 めぐりカム」
6日	障がい者福祉部会主催 全体研修 テーマ:「障がいのある人への就業支援・職場定着支援について」 講師:枚方市障害者就業・生活支援センター 所長 野村 靖夫 氏
7日	生活福祉部会管外研修「更正保護施設 西本願寺白光荘」
9日~10日	全国民生委員児童委員100周年記念大会〔東京ビックサイト〕
10日	主任児童委員連絡会(関係機関)研修 「教育委員会との交流及び情報交換」枚方市教育委員会 職員
11日	子育てサロン「ゆりかご」(開成・山之上) 児童福祉部会ひよこ広場(未熟児教室)春コース2回目〔保健センター〕
13日	役員会・校区委員長会
第4週	地区委員会(14地区)
8月 1日	民児協ひらかた第134号発行
3日	夏休み児童映画大会「アングリーバード」〔枚方市民会館〕 合計入場者数 1355人
4日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 新任民生委員児童委員研修会(枚方市)
7日	主任児童委員連絡会ブロック別研修 北ブロック 「枚方市適応指導教室 ルボ」 主任児童委員連絡会ブロック別研修 中央ブロック・東ブロック 「水上隣保館 遙学園」
29日	民生委員・児童委員活動の見える化プロジェクト (8月29日・8月31日・9月4日・9月7日・9月12日実施)
9月 5日	高齢者福祉部会管外研修「特別養護老人ホーム いこいの村 梅の木寮」
6日	児童福祉部会主催 全体研修 テーマ:「地域で子育て~子育て支援の基本的な姿勢を学びましょう~」 講師:女性サイクル研究所 フェリアン 森崎 和代 氏

7日	障がい者福祉部会研修 テーマ「障がいのある人の地域での生活や仕事について」 講師：地域支援センターゆい 利用者・職員
11日	主任児童委員連絡会（関係機関）研修 「子ども総合相談センターとの交流及び情報提供」 枚方市子ども総合相談センター 職員
12日	子育てサロンゆりかご（民生委員児童委員の見える化プロジェクト）
14日	役員会・校区委員長会
第4週	地区委員会（14地区）
10月 1日	子育てマップエリア別情報紙発行
2日	児童福祉部会・主任児童委員連絡会 合同研修 テーマ：「信頼をつなぐ傾聴力」 講師：（株）リープス・ライフ 代表 菓子田 圭子 氏
3日	高齢者福祉部会「ひとり暮らし老人連絡会との交流会」
5日	障がい者福祉部会研修 テーマ：「手話」講師：手話サークル昼柿
10日	子育てサロンゆりかご（津田・津田南・氷室） 主任児童委員連絡会ブロック別研修 南ブロック「交野女子学院」
12日	役員会・校区委員長会
21日	障がい者福祉部会「くすの木まつり」〔枚方市立くすの木園〕に参加協力
25日	児童福祉部会ひよこ広場（未熟児教室）秋コース1回目〔保健センター〕
第4週	地区委員会（14地区）
11月 2日	障がい者福祉部会 視察研修「大阪府立むらの高等支援学校」
7日	高齢者福祉部会主催 全体研修 テーマ：「枚方市介護予防・日常生活支援総合事業の進捗状況について」 講師：枚方市長寿社会部 地域包括ケア推進課 職員
	児童福祉部会ひよこ広場（未熟児教室）春コース2回目〔保健センター〕
9日	役員会・校区委員長会
11日	「児童虐待防止啓発活動」（社協ふくしフェスティバル）
14日	子育てサロンゆりかご（春日・東香里・香島）
17日	大阪府社会福祉大会〔大阪国際交流センター〕
第4週	地区委員会（14地区）
12月 1日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 新任民生委員児童委員研修会（枚方市） 民児協ひらかた第135号発行（広報部会）
6日	障害者週間啓発活動（福祉団体連絡会主催行事に協力）
12日	子育てサロンゆりかご（樟葉・樟葉北）
14日	役員会・校区委員長会
第4週	地区委員会（14地区）
1月 13日	地区リーダー新年懇親会
26日	大阪府民児協連河北ブロック連絡会総会
2月 1日	障がい者福祉部会DVD研修 「障害者差別解消法について」「大人の発達障害について」
8日	役員会・校区委員長会・部会予算ヒアリング
13日	子育てサロンゆりかご（樟葉南・樟葉西・船橋）
15日	地区委員長研修
第4週	地区委員会（14地区）

3月 1日	障がい者福祉部会研修 テーマ：「障害者手帳について」講師：枚方市 障害福祉室 職員
5日	主任児童委員連絡会（関係機関）研修 「大阪府中央子ども家庭センターの役割について」 大阪府中央子ども家庭センター 総務企画課 職員
6日	高齢者福祉部会研修 テーマ：「知っておきたい薬の知識」 講師：枚方市保健所 保健企画課 職員
7日	児童福祉部会相互研修 「育児教室について」子育て運営課 職員・保健センター 職員
8日	役員会・校区委員長会・総会リハーサル
13日	子育てサロンゆりかご（さだ・さだ東・さだ西）
28日	総会（予算・事業計画）・研修会〔枚方市民会館〕 研修テーマ：「改正災害対策基本法に基づく 避難行動要支援者名簿」について 講 師：枚方市 福祉部 福祉総務課 職員

（13） 枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。赤十字運動をはじめ、健康生活支援員養成講習の開催や地域における防災訓練等への日赤大阪府支部の職員の派遣調整や炊き出し用の釜の貸し出しなど、広く市民に赤十字活動を啓発することに努めた。

また、日赤大阪府支部が新しく開発した「防災・減災プログラム」による全体研修を行った。

① 奉仕団活動状況

・役員会 5/17、11/15、2/5、3/6

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/1 ～ 3/31	市内全域	社員制度を基本とする赤十字の精神の周知を図るため会員募集（募金）を実施 枚方市地区分 12,209,614 円 府支部直送分 2,289,370 円 利 息 4 円 合 計 14,498,988 円	373 分団
5/30	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成29年度 連合分団長の紹介 ・平成28年度事業報告及び平成28年度決算報告 ・平成28年度監査報告 ・平成28年度社資募集実績報告 ・役員改選 ・赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会について	27
6/12	ラポールひらかた 大研修室	全体研修（連合分団長・婦人部会・家庭看護部会） 日赤大阪府支部による防災啓発プログラムによる研修を実施。第1部 講義 「巨大地震への備え～避難所支援～」 第2部 実技「避難所での支援対応」 講師：日赤大阪府支部福祉安全課 和田野 元美 看護師	74

9/27	堺泉北堺二区基幹的防災拠点 (大阪府堺市堺区)	管外研修 京阪神都市圏において大規模地震が発生した際に災害応急活動の核となる基幹的防災拠点の役割と機能について、国土交通省近畿地方整備局・近畿圏臨海防災センター内の自家発電機、海水淡水化装置などの機材の見学、拠点内の耐震強化岸壁や発災時にヘリポートや物資輸送の中継基地となる緑地に関する知識を得、今後の地域支援の考える機会とした。	26
10/6	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成29年度活動資金の中間報告について ・地域活動助成金(活動資金実績)について ・枚方市赤十字奉仕団大会について ・連合分団長管外研修報告について	34
12/7	ラポールひらかた 大研修室	枚方市赤十字奉仕団大会 社長感謝状、金・銀有功章などを、日赤枚方市地区長から表彰状を授与された。 二部：「東ティモール赤十字社での救急法普及事業」をテーマに、日本赤十字社大阪府支部振興部 高間 晶子 氏に講演していただく。	78
2/9	メセナひらかた 会館 研修室	第25回 北河内ブロック赤十字奉仕団連絡協議会総会 ・衛星都市郡部赤十字奉仕団連絡協議会の役員改選 ・平成29年度決算見込及び繰越金の使用方法 ・平成30年度事業計画(案)・予算(案)について ・平成30年度以降の幹事市と副幹事市について	25
3/9	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成30年度事業計画(案)・予算(案)について ・平成30年度赤十字運動に向けて ・平成29年度地域活動助成金について ・枚方赤十字奉仕団大会の報告について ・北河内ブロック赤十字奉仕団連絡協議会総会報告 ・各事業報告について	29

② 部会活動状況(役員会・定例会は除く)

ア) 婦人部会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/28	ラポールひらかた 研修室1	管内研修会 テーマ「成年後見制度・終活について」 講師 司法書士 山形 浩隆 氏	39
9/15	奈良県天川村	管外研修 奈良県天川村役場にて、天川村女性の会との交流会を実施、災害時の対応や、活動内容に関する知識を得、今後の地域支援の考える機会とした。	30
11/25 12/2	枚方市民会館 調理室	枚方市地域防災推進員研修会にあわせて、災害時の炊き出し訓練を実施。	延べ 48

1/30	枚方市駅前 献血ルーム付近	献血事業 冬期献血街頭キャンペーン (結果) 200ml 0人・400ml 15人 成分献血 31人 合計 46人	9
3/7	JICA 関西 (神戸市中央区)	管外研修 災害等の対応や、活動内容に関する知識を得、今後の地域支援の考える機会とした。	32

イ) 家庭看護部会 (勉強会・定例会は除く)

*参加協力事業

健康生活支援講習支援員養成講習の講師サポート及び社資募金 (街頭募金)

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/6	京阪枚方市駅周辺	平成29年度赤十字運動に伴う、活動資金募集の街頭募金及び啓発活動 (14,712円)	20
6/12	ラポールひらかた 大研修室	全体研修「防災啓発プログラム」 ・避難所で役立つ知識と技術	19
9/19	ラポールひらかた 研修室1	地域防災訓練のアシスタント ・避難所で役立つ知識と技術・車いす操作	13
11/3	春日校区	地域防災訓練のアシスタント ・避難所で役立つ知識と技術・車いす操作	10
11/11	ラポールひらかた ミーティングルーム	第7回ひらかた社協ふくしフェスティバル ・災害時における手当と準備 (来場者208人)	23
12/5	ラポールひらかた デイサービス	ラポールひらかたデイサービスセンター見学	22
2/16	兵庫県 広域防災センター	管外研修 消防・備蓄倉庫の施設において、国内の大規模地震だけでなく、災害等時の対応に関する知識を得、今後の地域支援の考える機会とした。	20
2/17	ラポールひらかた ミーティングルーム	第2回 よどがわ防災まつり 災害時での体験しながら学べる機会とした。	14

(14) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として枚方・交野保護区(枚方市・交野市)の範囲で活動を行う枚方・交野地区保護司会の事務局として、定期研修(年4回)・理事会・定例会等の定期事業の他に、更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など)との連携支援、7月を強化月間とする「第67回社会を明るくする運動」の実施委員会の運営、準備・開催まで、全面的な運営支援を行った。

また、地域更生保護活動の拠点でもある「枚方・交野地区更生保護サポートセンター」を運営し、保護司の処遇活動の支援のほか、地域の教育・防犯・社会福祉関係機関や団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供、住民からの各種相談に応えた。

保護司数は、108人(平成30年3月31日現在)。

① 定期事業（総会・定例会・研修事業など）

月 日	場 所	内 容
4/14	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件について
4/19	ラポールひらかた	定例会・各部会 *第67回社会を明るくする運動について *各部の活動について
5/10	ラポールひらかた	監 査 *平成28年度 事業報告・決算
5/15	ラポールひらかた	*決算総会に向けて *定例会提出案件について
5/18	ラポールひらかた	決算総会・定例会 *平成28年度事業報告・決算 *管外研修について など
5/30~31	高松刑務所 徳島刑務所	管外研修（香川県・徳島県）
6/7	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件・定期研修について
6/15	交野市立保健福祉 総合センター	第一期定期研修 『生活環境の調整について』 定例会 *新任保護司紹介 *再任保護司委嘱状伝達 *社会を明るくする運動について
6/29	ラポールひらかた	新任保護司研修（平成29年5月25日委嘱者） 『地区保護司活動について』
7/12	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件について
7/14	サポートセンター	新任保護司懇談会（平成29年5月25日委嘱者）
7/20	ラポールひらかた	定例会・部会 *各部の報告について *各部の活動について
8/17	ラポールひらかた	理事会 *更生保護大会について
9/13	ラポールひらかた	理事会 *合同研修会の運営・定例会案件について
9/21	交野市立保健福祉 総合センター	保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会合同研修会 『依存症の理解と対応』 講師：医療法人藤井クリニック 医療相談室長（精神保健福祉士） 藤井 望夢 氏 定例会 *各部の報告について
10/11	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件・定期研修について
10/20	交野市立保健福祉 総合センター	第二期定期研修 『薬物事犯者の処遇について』 定例会 *名誉会員・新任保護司紹介 *再任保護司委嘱状伝達 *企画調整保護司委嘱状伝達 *各部の報告について
10/25	ラポールひらかた	新任保護司研修（平成29年9月25日委嘱者） 『地区保護司活動について』
11/1	大阪狭山市文化会館	大阪更生保護大会
11/6	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件・管内研修について
11/15	大阪地方検察庁 京都地方検察庁	管内研修 大阪地方検察庁（大阪府）・京都地方検察庁（京都府） 定例会 *大阪更生保護大会受賞者表彰伝達 *各部の報告
12/4	サポートセンター	新任保護司懇談会（平成29年9月25日委嘱者）
12/13	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件・定期研修について
12/21	交野市立保健福祉 総合センター	第三期定期研修 『面接とそれに付随する問題について』 定例会 *管内研修報告、新年互礼会等について
1/12	ひらかた仙亭	枚方・交野地区保護司会新年互礼会
2/7	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件・定期研修について
2/14	交野市立保健福祉 総合センター	第四期定期研修『高齢者の犯罪について』 講師：保護司会 研修部 中川 るみ 氏 定例会 *名誉会員・退任保護司・新任保護司紹介 ※再任保護司委嘱状伝達 ※各部からの報告について
2/28	ラポールひらかた	新任保護司研修（平成30年1月25日委嘱者） 『地区保護司会活動について』

3/13	ラボールひらかた	理事会 *平成30年度事業計画・予算(案)について
3/22	ラボールひらかた	予算總會・定例会 *平成29年度事業計画・予算(案)について
3/28	サポートセンター	新任保護司懇談会(平成30年1月25日委嘱者)

- ② 理事会(11回) 4/14、5/15、6/7、7/12、8/17、9/13、10/11、11/8、12/13、2/7、3/16
 ③ 役員調整会議の開催(7回)4/14、5/15、6/7、7/12、8/17、9/13、10/11
 ④ 候補者検討協議会の開催(12回)[北部]4/26、9/6、11/29 [中部]4/26、9/6、11/29
 [南部]4/25、8/25、11/22 [東部]4/25、8/25 [交野]4/20

⑤ 更生保護啓発活動

月 日	場 所	内 容
5/10	ラボールひらかた	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 *第67回社会を明るくする運動について
7/4	枚方市民会館 大ホール	第67回社会を明るくする運動 *街頭パレード・式典 (参加者数:623人) *アトラクション 香里幼稚園、更生保護女性会「なでしこコーラス」 関西外国語大学吹奏楽部・チアリーダー部 *街頭キャンペーン(絆創膏配布/7,300個/174人)
8/30	交野市立保健福祉 総合センター	枚方・交野地区更生保護大会 *アトラクション 交野市立第三中学校吹奏楽部 *式典 *講演 「薬物乱用防止講話と手品」 講師:ハッピー浅田氏 (参加者数:353人)
7月~9月		第67回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象)(応募数:233点) 両市中学3年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 (4,372枚)

⑥ 関係団体との連携・懇談など

- ・関係団体(14回) 4/13、4/17、4/21、5/18、5/21、6/6、6/16、6/22、6/23
8/4、10/9、10/10、11/24、3/9
- ・学校との連携事業(20回)
交野第一中(4/19、10/24)、交野第二中(6/3)、枚方第二中(6/30)、杉中(7/3)
蹊跼中(7/11)、楠葉西中・渚西中・長尾西中・交野第四中(7/12)
津田中(7/13)、招堤北中(7/18)、桜丘中(7/19)、枚方第四中(7/26)、山田中(7/31)
交野第三中(8/31)、長尾中(9/4)、招堤中(9/8)、東香里中(12/13)、中宮中(2/19)
- ・校区懇談会(10回)※中学校区毎に開催
津田中(4/28)、交野第二中(6/3)、桜丘中(6/22)、山田中(7/11)
楠葉中・楠葉西中・招堤北中(10/5)、枚方第四中(11/17)、枚方第二中(1/23)、蹊跼中(2/1)

⑦ 薬物乱用防止教室

- 枚方市立氷室小学校(7/11) 6年生4クラス対象
- 枚方市立津田南小学校(12/18) 6年生2クラス対象
- 枚方市立伊加賀小学校(2/5) 6年生3クラス対象
- 枚方市立招堤小学校(2/19) 6年生2クラス対象

⑧ 広報活動

- ・機関紙「みのり」の発行 第82号(7/1)、第83号(1/1) (発行部数:各3,500部)
- ・ホームページの公開
- ・市広報等への掲載 広報ひらかた・かたの6月号 広報かたの8月号
- ・その他啓発 毎日新聞 満載イベント編 河内/大阪 6月21日掲載分

⑨ 放 送

- ・社会を明るくする運動 枚方市庁内放送・FM ひらかた

⑩ 更生保護サポートセンターの運営

- ・名称 「枚方・交野地区更生保護サポートセンター（ひらかた・かたの）」
- ・開館日時 サポートセンター（ひらかた）火・水・木・土・日曜日の午前10時～午後4時
サポートセンター（かたの）月・火・木・金・土曜日の午前10時～午後4時
（年末年始及び国民の祝日、その他会長が指定する日を除く）
- ・所在地 サポートセンター（ひらかた）サンプラザ1号館201号室
サポートセンター（かたの） 交野市役所別館2階
- ・開館状況：開館日数 327日 企画調整保護司の従事者数 延べ833人
対応件数 262件 来所者数 344人
- ・企画調整保護司会議（10回）
ひらかた（4/28、6/30、8/25、10/27）
かたの（5/24、7/26、9/28、11/29、1/25、3/28）

(15) 枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会の運営支援

市内の社会福祉法人が、連携・協力し、今日的な福祉課題の解決に向けた取り組みを行うことを目的に、「枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会」が平成27年3月に結成。

今年度は、従来の活動に加え市民向けの映画会や、社会福祉協議会のコミュニティーソーシャルワーカーと連携して出張相談会（2回延べ4日間）を開催し、分野を超えた横断的な情報交換等を行いながら、人権擁護、地域貢献活動に取り組んだ。

加入法人：57法人（平成30年3月31日現在）

①総会の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/9	ラポールひらかた 大研修室	【総会】 ・第1号議案 会則の改正について ・第2号議案 平成28年度 事業報告について ・第3号議案 平成28年度 決算について ・第4号議案 平成29年度 事業計画(案)について ・第5号議案 平成29年度 予算(案)について ・第6号議案 役員の改選について 【会員交流会】 総会終了後、会員相互の情報交換・懇談を行った	32法人 39人

②役員会の開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/10	ラポールひらかた 特別会議室1	・平成28年度事業報告及び決算報告について ・平成29年度事業計画(案)及び予算(案)について ・総会の開催について	8
5/9	ラポールひらかた 研修室1	・総会の開催について ・会員交流会について	8
7/3	ラポールひらかた 特別会議室1	・総会の開催について(報告) ・災害時連携のためのアンケートの実施について ・研修会の開催について	8
9/12	ラポールひらかた 特別会議室1	・災害時連携のためのアンケートの実施について ・社協ふくしフェスティバルへの参加について ・研修会の開催について	8

		・大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会との連携推進モデル事業について	
10/2	ラポールひらかた特別会議室1	・災害時連携のためのアンケートの実施について ・大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会との連携推進モデル事業について ・商業施設（空き店舗など）を活用した啓発活動について ・社協ふくしフェスティバルへの参加について ・絵画展・映画会の開催について	8
10/31	ラポールひらかた特別会議室1	・社協ふくしフェスティバルについて ・映画会・事例報告会の開催について ・商業施設（空き店舗など）を活用した啓発活動について ・会員施設マップの作成について	8
12/19	がんこ寿司枚方店	・社協ふくしフェスティバルについて（報告） ・映画会・事例報告会の開催について ・イズミヤ枚方店/福祉なんでも出張相談会について ・「災害時の備えについてのアンケート」について（中間報告）	8
2/20	ラポールひらかた特別会議室2	・研修会（映画会）、事例報告会について（報告） ・福祉なんでも出張相談会について（報告） ・大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会との連携推進モデル事業について ・総会の開催について	7

③研修会等の開催

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
12/25	ラポールひらかた大研修室	【市民啓発事業】 映画会「さとにきたらええやん」(午前・午後2回上映) →一部を市民向けに開放し、社会課題や人権擁護の取り組みについて啓発を行った。	105
		【会員研修会・交流会】 活動報告「CSWの取り組みについて」 ～CSWが関係機関と連携した伴走型の支援について～ 報告者：いきいきネット相談支援センター 社会福祉協議会 北部・東部	47

④調査・研究等の実施

『災害時の備えに関するアンケート』の実施

会員施設に対し、災害時に備える体制づくりの状況についてアンケートを実施。自施設の状況を振り返ると共に、非常時の相互支援・協力関係の構築と共に、地域社会に対してどのような取り組みが可能であるか検討の準備に取り組んだ。

【実施時期】10月～11月 【回答数】69施設

⑤啓発活動の開催

社協ふくしフェスティバルや市内の商業施設等で、啓発活動と共に出張相談会を開催。各施設の取り組みを市民に向けて紹介すると共に、法人・分野を超えた施設が同時に行動することで交流・連携のきっかけ作りに取り組んだ。

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
11/11	ラポールひらかた	「ひらかた社協ふくしフェスティバル」への出展 【啓発活動】 ・啓発チラシとマスク（1,500部）の配布 ・連絡会及び高齢・障害・児童分野の活動紹介を行う啓発パネルの展示 【福祉なんでも出張相談会】 ・館内の一室で市民向けの相談会を初開催した （相談件数：6件／延べ8人） ・相談員：会員施設と社協CSW ・会員施設啓発コーナーの設置（各種資料の配付）	30
1/18	FMひらかた	「ひらかた聞いて納得！」に出演 ・連絡会の取り組みについて紹介 ・1/31～2/2開催の「福祉なんでも出張相談会」について告知	2
1/31 ～ 2/2	イズミヤ枚方店	「福祉なんでも出張相談会」の開催 【啓発活動】 ・会員施設啓発コーナーの設置（各種資料の配付） ・啓発チラシとマスク（200部）の配布 【福祉なんでも出張相談会】 ・フードコート横空き店舗スペースに、臨時の相談ブース（2カ所）を開設。来店者の相談に対応をした （相談件数 29件／36人） ・相談員：会員施設、社協CSW、人権協会CSW 大阪府社協社会貢献推進室	26

⑥広報、啓発資材の製作

- ・連絡会会員紹介リーフレット（5,000部）
- ・市民向け啓発資材の作成（リーフレット入りマスク：5,000部）
→ 11/11社協フェスティバル、12/25映画会、1/31～2/2イズミヤ出張相談会などで配布
- ・展示用パネルの製作（連絡会、高齢、障害、児童ごとの活動を紹介するパネル4枚を製作）
- ・出張相談会用啓発機材の作成（のぼり10基、卓上のぼり20基）

2. 住民会費等事業

社会福祉協議会の自主性を高め、行政の福祉施策とは違った住民主体の地域福祉活動を進める為に、校区福祉委員会を窓口として、校区コミュニティ協議会や自治会等の協力により、住民会員の募集を行った。集まった会費は、校区福祉委員会の活動助成をはじめ、ボランティア活動支援や社協だよりの発行など、誰もが住みやすいまちづくりの推進を図るために活用した。

(1) 組織会員の状況

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核として機能できる組織づくりを目的とした組織会員は、本会の基本的な構成員で、本会の事業運営に参加する団体・機関であり、積極的な加入促進を行うとともに、組織会員を対象とした研修会を年2回行った。

◎組織会員数 168団体（平成30年3月31日現在）

①組織会員研修

「広報は相手とのコミュニケーション～明日から使える広報の技術～」

機関紙やチラシ、ホームページ、SNSなど、さまざまな形で人に伝えることができる時代。誰に何を伝え、レイアウトはどのようにすればいいのかを学び、著作権や肖像権などの取り扱いについても事例を踏まえて学んだ。

(日 時) 平成29年11月29日 (月) 午後2時～4時30分
 (場 所) ラポールひらかた 4階 大研修室
 (講 師) 株式会社 きかんしコム 岡本 一也 氏
 (参加者) 60人

「個人情報の保護の適切な取り扱いについて」

個人情報の適切な取り扱いについて、さまざまな取り組みをされていますが、個人情報に関する誤った解釈などから、対応に苦慮されており、個人情報について正しく理解するとともに適切な取り扱い方法を学ぶことを実施した。

(日 時) 平成30年2月27日 (火) 午後1時30分～4時30分
 (場 所) ラポールひらかた 4階 大研修室
 (講 師) 春陽法律事務所 弁護士 石田 文三 氏
 (参加者) 47人

(2) 社協会員募集状況

7月を会員募集推進月間として、会員を募集

会員種別	会員数	詳 細	
住民会費	20,223人	25,170口	12,585,000円
特別住民会員	2人	2口	40,000円
法人賛助会員	121法人	138口	1,380,000円
福祉協力金			5,194,218円
		総 計	19,199,218円

(会費の使い道)

(単位：円)

校区福祉委員会活動助成(45校区)	9,644,856
校区福祉委員会協議会運営費	347,440
ひらかた社協だより印刷配布費	6,779,686
社協紹介リーフレット作成費	232,200
ボランティア活動推進	900,000
住民会員募集事務経費	891,122
合 計	18,795,304

※残金 403,914円については、次年度に繰り越し

3. 助成事業

(1) 枚方市福祉団体連絡会の活動支援

① 連絡会の開催 (総会1回、連絡会11回 計12回)

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/17	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選について 平成28年度事業報告・決算について 平成29年度事業計画(案)・予算(案)について 総会について 平成28年度事業報告・決算、平成29年度事業計画 予算の提出について 第1回 交流会について 	12
5/18	ラポールひらかた 研修室1	[総 会] <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告・決算・監査報告 平成29年度事業計画(案)・予算(案) 	44

		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 テーマ「高齢者の交通安全について」 講 師 枚方警察署交通課 田畑 義夫 氏 	
6/12	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・管外研修について ・福祉団体活動助成金について ・対市要望について 	10
7/24	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・対市要望について ・第2回交流会について ・さわやかカフェ担当日の変更について ・福祉団体活動助成金について 	11
8/21	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・要望書について ・第2回交流会について ・さわやかフェについて ・啓発事業について <ul style="list-style-type: none"> ① 10/27 ハロウィン啓発活動 ② 12/6 障害者週間キャンペーン ③ 10/22 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル ④ 11/11 ひらかた社協ふくしフェスティバル 	12
9/11	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかカフェチラシの配布について ・啓発事業について <ul style="list-style-type: none"> ① 10/27 ハロウィン啓発活動 ② 12/6 障害者週間キャンペーン ③ 10/22 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル ④ 11/11 ひらかた社協ふくしフェスティバル 	12
10/16	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業について <ul style="list-style-type: none"> ① 10/27 ハロウィン啓発活動 ② 12/6 障害者週間キャンペーン ③ 10/22 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル ④ 11/11 ひらかた社協ふくしフェスティバル ・要望書回答会について 	12
11/20	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・要望書回答会について ・「障害者週間」啓発事業について ・交流もちつき大会について ・管内研修（料理教室）について 	9
11/29	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・要望書回答会の打合せについて 	11
1/15	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・交流もちつき大会について ・管内研修（料理教室）について ・平成30年度事業予定について ・平成30年度第1回交流会について 	12
3/12	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度枚方市福祉団体連絡会事業計画（案）・予算（案）について ・平成30年度第1回交流会について ・民間バス借上料補助金の交付申請について ・平成29年度事業報告・決算、平成30年度事業計画予算の提出について ・平成30年度さわやかカフェ当番表について 	11

1 / 25	ラポールひらかた	第3回 交流会 交流もちつき大会 ※枚方市ボランティアセンターの協力を得て開催	150
2 / 22	ラポールひらかた ミーティング ルーム1・2	管内研修 料理教室 品名：バエリア・サラダ・スープ・オードブル・ コーヒー	22
2 / 28	ラポールひらかた 福祉団体共用 ルーム	管内研修 会計研修 会計処理の重要性・日々の会計処理について	20

⑤ 健康・医療・福祉フェスティバル開催に協力：模擬店出店 2団体

⑥ 社協ふくしフェスティバル開催に協力：模擬店出店 3団体

(2) ひとり暮らし老人会連絡会の活動支援

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもとに結成された、ひとり暮らし老人会の連絡調整を図り、校区福祉委員会・社会福祉協議会及び関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化を行い、ひとり暮らし老人の福祉向上を目的として、次のような活動を推進した。

【ひとり暮らし老人会設置状況】		平成30年 3月31日現在
当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
45校区	40会	1,328人

①連絡会の開催状況

1) 役員会 4/19、5/11、6/21、7/19、8/30、9/20、10/11
11/15、12/20、1/17、2/28、3/28 計12回

2) 全体会 (単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
5/20	ラポールひらかた 研修室1	・平成28年度事業報告・決算報告について ・平成29年度事業計画(案)予算(案)について ・会長・役員研修会(管内・管外)について	39
10/11	ラポールひらかた 研修室1	・平成29年度上半期事業報告について ・平成29年度下半期事業予定について ・管外研修について	38
2/28	ラポールひらかた 研修室1	・平成29年度決算見込みについて ・広報紙について ・交流研修会について	36

②研修会の開催状況

1) 会長・役員研修会(管内研修) (単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
8/30	ラポールひらかた 大研修室	講演会 「高齢者向け悪徳商法について」 講 師 枚方市立消費生活センター 山中 有美子 相談員	98

2) 会長研修会 (管外研修)

月 日	内 容	出席数
11/1	研修先 国立京都博物館、三十三間堂 (京都市下京区) 大蔵記念館 (京都市伏見区)	32

3) 交流研修

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
3/28	ラポールひらかた 大研修室	映画「あん」(1回上映)	132

4) ブロック別交流・研修会

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/20	ラポールひらかた 大研修室	【Aブロック(8会)】 ・講演「悪徳商法の事例と対処について」 ・アトラクション(アコーディオン演奏)	76
10/27	ラポールひらかた 大研修室	【Bブロック(7会)】 ・講演「知っておきたい薬の知識」 ・出前歌声喫茶	60
11/14	ラポールひらかた 大研修室	【Cブロック(6会)】 ・講演「ロコモティブシンドローム体操」 ・大正琴演奏、カラオケ、コーラス	111
10/4	ラポールひらかた 大研修室	【Eブロック(4会)】 ・講演「笑う門には福来たる」 ・アトラクション(軽音楽)	71
9/28	藤阪ハイツ 管理センター	【Fブロック(5会)】 ・講演「ひとり暮らし高齢者の栄養について」 ・アトラクション(男声合唱団ミニコンサート)	75
11/30	津田生涯学習 市民センター	【Gブロック(3会)】 ・講演「おいしく食べて上手にのみこむ」 ・脳トレ、ゲーム	68

③関係機関・団体等との連携事業の状況

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/6	ラポールひらかた 大研修室	民生委員児童委員協議会「高齢者福祉部会」との懇談会 (会員対象) アトラクション「高齢者向け悪徳商法の対策について」 (出演:大阪府警職員) 交流会 各テーブルにて意見交換	101 (内会員) 75

④小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

1) 月例開催状況 ・年間11回 1,041人(延べ人数)

主に、メセナひらかた大会議室及びラポールひらかた大研修室で活動

2) 主催行事 ・友愛訪問 特別養護老人ホーム「里仁館」(10月20日、34人)

3) 参加行事 ・第7回 ひらかた社協ふくしフェスティバル(11月11日、32人)

4. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会の協力を得て、京阪枚方市駅・樟葉駅周辺で街頭募金を実施した。また、今年度はひらかた社協フェスティバルや関西外国語大学での街頭募金に加え、新たに大阪歯科大学の協力を得て、街頭募金や啓発活動を行った。

募金総額 8,344,146 円

また、大阪府共同募金会より1,716,597円の配分があり、本会から枚方市内のボランティア活動などに対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施（平成29年12月1日～平成29年12月31日）

今年度も枚方地区募金会と社会福祉協議会との共催で実施した。

また、集めた募金をよりの確かかつ有意義に活用できるように配分について職員内でチームをつくり次年度の配分に向けての検討を行ってきた。

募金総額 10,847,432 円

(3) 共同募金の配分

平成29年度 大阪府共同募金会からの配分金 10,768,607円

(配分内訳)

(単位：円)

地域福祉活動支援助成	4,250,000
ひとり暮らし老人会運営助成	2,718,000
福祉団体等助成事業	380,000
ボランティア活動助成	762,303
小規模災害助成（火災）	920,000
生活困窮者物資助成	54,263
ふれあいフェスティバル助成	400,000
社協あんしんカレンダー配布	1,695,600
よどがわ防災まつり等	649,094
災害備品備蓄品	1,059,988
合 計	12,889,248

※不足分については、前年度繰越金を使用

5. 総合福祉センター管理運営事業

平成27～31年度の指定管理者として、枚方市総合福祉センターの管理運営を行った。

リニューアルオープンして3年目を迎え、より多くの皆さんに利用していただくことを目的に、センターで活動する団体の協力を得て、文化祭を開催。各同好会の作品展示・活動発表、イベントや活動体験等を通じて、市民が交流する場となった。

高齢者の健康と福祉の増進を図るため、趣味の講座、介護・福祉・健康講座、シニアボランティア講座、世代間交流事業、ラジオ体操、ひらかた元気くらわんか体操の実施や健康相談、生活相談を行った。また、施設内の設備を改善し安全確保を図ると共に、サービス向上に努め、利用者の拡大を図った。

(1) センター・老人作業所受付等業務

①開所日数及び利用証発行件数

(単位：日/件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
利用証発行件数	859	278	97	82	50	59	71	68	24	39	47	57	1731

※利用証発行内訳（高齢者1,495、市民92、作業所144）

②施設利用状況

福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
大広間	156	3,228
第1和室	290	1,218
第2和室	105	1,276
第3和室	106	1,387
第1会議室	203	8,129
第2会議室	326	5,146
第3会議室	354	2,263
第4会議室	358	7,673
第5会議室	363	5,330
調理室	99	1,751
講座室	216	4,634
茶室	57	580
体育室(フリー)	212	8,701
体育室(卓球)	3,317	13,076

(単位:件/人)

福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
対局室	2,490	5,001
ビリヤード室	711	2,119
バンパー場	191	393
グラウンド	249	6,209
ラジオ体操	304	4,852
浴室	616	11,944
足湯	616	4,966
機能回復訓練室	1,232	27,077
計	12,571	126,953

老人作業所		
室名	件数	利用者数(延)
老人作業所	565	4,866

③講座・行事開催状況

<趣味の講座>

(単位:回/人)

講座名	延開講数	延受講者数	講座名	延開講数	延受講者数
はじめての民謡	10	203	すっきりストレッチ &健康運動	10	221
はじめての詩吟	10	186	折り紙	10	131
やさしいヨガ体操	10	254	すっきりストレッチ& 健康運動(作業所)	8	137
はじめての絵手紙	10	153	やさしいヨガ体操 (作業所)	8	98
はじめての切り絵	8	134			

<市民講座>

(単位:回/人)

講座名	延開講数	延受講者数	講座名	延開講数	延受講者数
ハワイアンフラ	10	232	簡単おしゃれな デザートづくり	6	123

<介護・福祉・健康講座>

(単位:人)

月日	内 容	参加者数
7/25	健康講座「介護予防の大切さを学びましょう」 健康体操「からだほぐし体操とながら体操でリフレッシュ」	26
1/27	健康講座「体力測定」	41

<世代間交流行事>

(単位:人)

月日	内 容	参加者数
8/20	スポーツ吹矢体験	25
3/18	グラウンドゴルフ体験	26

<シニアボランティア体験>

(単位：人)

月 日	内 容	参加者数
3/13	講義「今からできるボランティア活動の紹介」 体験 紙バックを再利用したハガキ作り「紙漉体験」	15

<ロビーコンサート>

(単位：人)

月 日	回数	出 演 者	参加者数
4月	3	オカリナHAPPY、HIRAKATAの爺、 ハワイアンバンドJJ&BB	145
5月	1	ハーモニカあすなろ会	30
6月	1	HIRAKATAの爺	40
7月	1	ハーモニカあすなろ会	30
8月	3	オカリナHAPPY、ノロリン、HIRAKATAの爺	116
10月	4	ハーモニカあすなろ会、ハワイアンバンドJJ&BB(2回)オカ リナHAPPY&Vo. Pf、HIRAKATAの爺	299
11月	1	ハーモニカあすなろ会	40
12月	3	やすらぎ、オカリナHAPPY&Vo. Pf、HIRAKATAの爺	133
1月	1	ハーモニカあすなろ会	49
2月	1	HIRAKATAの爺	25
3月	3	ハーモニカあすなろ会、やすらぎ、オカリナHAPPY&Vo. Pf	134

<文化祭>

日時：平成29年10月5日(木)～8日(日)

午前9時30分～午後4時 ※但し、8日(日)は午前9時30分～午後12時

主催：枚方市総合福祉センター、文化祭実行委員会

内容：

- (1) 展示の部(書道、水彩画、編み物、クレパス画、俳画、着物リメイクなど)
参加者数 延べ4,427人
- (2) 発表の部(社交ダンス、健康体操、カラオケ、茶会、フラダンスなど)
参加者数 延べ1,008人
- (3) 講習・体験会(折り紙、スポーツ吹き矢、手作りろうそく、カーリンコンなど)
参加者数 165人

④バス送迎状況

(単位：回/人)

月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	
4	292	2860	8	310	2865	12	270	2618	
5	296	3037	9	292	2923	1	273	2510	
6	296	2898	10	296	3200	2	278	2786	
7	292	2852	11	296	2908	3	313	3187	
							計	3504回	34644人

福祉バス利用回数(回)		利用人数(人)	車いす(台)
長寿社会推進室	60	1667	11
障害福祉室	16	326	25
ラポール	31	780	38
地域福祉課	21	566	31
合 計	128	3339	105

⑤相談等事業

(単位：件)

内 容	実 績	件 数
生活及び健康に関する相談	生活相談 35人 何でも相談（開設日12日）25人 健康相談（血圧測定） 8,469人	8,529
機能回復訓練の実施	ヘルストロン 18,608人 ひらかた元気くらわんか体操・ラジオ体操第3 4,852人	23,460

⑥運営委員会開催状況

(単位：人)

月 日	内 容	出席者数
1/24	・運営委員会委員長の選出について ・総合福祉センターの現状について ・平成30年度の事業実施予定について	13

⑦啓発活動状況

- * ホームページを随時更新
- * 機関紙『ふれあいステーション』の発行
第86号 1,500部を作成し、センター利用者、関係機関、団体・施設等に配布
- * 各種事業の案内 広報ひらかた、社協だより、ホームページ等
- * 啓発用パンフレットの作成（5,000部）および配布（一般、関係機関）
- * 同好会等グループ活動の活性化
 - ・センターの利用及び活動希望者にグループ活動を紹介
 - ・各団体からの依頼に応じ、活動紹介等を掲示
 - ・スロープ壁面作品展示

⑧その他実施状況等

- * 利用者アンケート 2月1日～2月28日 回答数 772件
- * 接遇・人権研修 7月31日（参加者数 40人）
- * 自衛消防訓練 11月21日、3月22日
- * 津田ふれあい地域教育協議会に出席

6. 小地域ネットワーク活動推進事業

高齢者・障害（児）者・子育て中の親子などが地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい、たすけあい活動を小地域で行う体制を構築することを目的とし、校区福祉委員会を中心に展開した。また、その活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を積極的に開催した。

(1) 校区福祉委員会協議会

①役員会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/27	ラポールひらかた 特別会議室1	・平成29年度住民会員募集について ・平成29年度地域福祉活動支援助成金について ・平成28年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成28年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・役員改選、各種委員の推薦について ・関西医科大学の実習受入れについて	7

8/9	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会住民会員募集の中間報告について ・社協ふくしフェスティバルについて ・夏期献血キャンペーンについて ・高齢者居場所づくり事業について ・関西医科大学実習受入れについて ・校区のふくしまちづくり計画について 	8
12/4	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会住民会員募集の中間報告について ・平成29年度歳末たすけあい募金について ・関西医科大学の実習受入れについて ・会長研修会の開催について ・冬期献血キャンペーンについて 	9
2/21	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度住民会員募集について(報告) ・平成29年度歳末たすけあい募金について(報告) ・平成30年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について ・平成30年度校区福祉委員会協議会関係予算(案)について ・各種委員会委員の選出について ・全体会議及び活動者研修会の開催について 	9

②全体会議開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/23	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業元気づくり・地域づくりプロジェクトについて ・平成29年度社協住民会員募集について ・平成29年度地域福祉活動支援助成金について ・平成28年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成28年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・関西医科大学実習受入れについて ・役員改選、各種委員会委員の選出について 	42
9/15	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者居場所づくり事業について ・社会福祉協議会住民会員募集の中間報告について ・歳末たすけあい募金運動について ・社協ふくしフェスティバルについて ・関西医科大学の実習受入れについて ・校区ふくしのまちづくり計画について 	42
12/18	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会住民会員募集の中間報告について ・歳末たすけあい募金について ・冬期献血キャンペーンについて(報告) ・関西医科大学の実習受入れについて ・大阪府小地域ネットワーク活動リーダー研修会について ・災害ボランティアセンター設置運営シミュレーションの開催について 	43

3/6	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度社会福祉協議会住民会員募集について(報告) 平成29年度歳末たすけあい運動について(報告) 平成30年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について 平成30年度校区福祉委員会協議会予算(案)について 校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ひとり暮らし老人会運営活動助成金に関する書類の提出について 関西医科大学の実習受入れについて 校区献血について 	42
-----	------------------	---	----

③各エリア会議開催状況

ア) 北エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/19	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市自立相談支援センターより情報提供 平成29年度北エリア管外研修会について 各校区の意見交換 	22
2/20	宇治市福祉 サービス公社	【管外研修】 <ul style="list-style-type: none"> 宇治市サービス公社と宇治市の認知症対応型サロンの事業説明と見学 	26
3/12	ラポールひらかた 研修室1他	【活動者交流会】 ※東エリアと合同開催 <ul style="list-style-type: none"> 各校区の活動について(情報交換) 今後の活動について 	45

イ) 中エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/21	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市自立相談支援センターより情報提供 平成29年度中エリア事業計画について 平成29年度中エリア管外研修について 自己紹介、各校区活動紹介 校区福祉委員会について 	30
1/31	兵庫盲導犬協会 神戸総合訓練 センター	【管外研修】 <ul style="list-style-type: none"> (社福) 兵庫盲導犬協会神戸総合訓練センターの見学 	27
3/20	ラポールひらかた 大研修室	【活動者交流会】 ※南エリアと合同開催 <ul style="list-style-type: none"> 各校区の活動について(情報交換) 地域の他団体との連携について 必要な地域資源や取り組みについて 	43

ウ) 南エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/31	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市自立相談支援センターより情報提供 平成29年度南エリア事業計画について 平成29年度南エリア管外研修について 各校区の活動状況について 	32

12/15	滋賀県近江学園	【管外研修】 ・滋賀県立近江学園事業説明、ギャラリーこかげ見学	36
3/20	ラポールひらかた 研修室1他	【活動者交流会】 ※中エリアと合同開催 ・各校区の活動について(情報交換) ・地域の他団体との連携について ・必要な地域資源や取り組みについて	43

エ) 東エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/6	枚方市立津田生涯 学習市民センター	・枚方市自立相談支援センターより情報提供 ・平成29年度東エリア事業計画について ・平成29年度東エリア管外研修について ・各校区の活動状況について	23
2/10	京都市子育て支援 総合センター こどもみらい館	【管外研修会】 ・こどもみらい館の事業説明 ・子育て支援事業の見学	24
3/12	ラポールひらかた 研修室1他	【活動者交流会】 ・各校区の活動について(情報交換) ・今後の活動について	45

(2) 研修会開催状況

①校区福祉委員会活動者研修会

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
3/12	ラポールひらかた 大研修室	講演「地域で盛り上がるレクリエーション」 講師:大阪府レクリエーション協会 公認講師 時森 美智子 氏	106

②校区福祉委員会会長研修会

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
12/18	ラポールひらかた 大研修室	講演 「障害者差別解消法について」 講師:枚方市社会福祉協議会 事務局次長 原田かおる	44

③校区福祉委員会会計担当者研修会

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/2	ラポールひらかた 大研修室	・校区福祉委員会の活動と財政について ・校区福祉委員会会計の処理について 講師:枚方市 市民活動課・社会福祉協議会 職員	75

④いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/22 8/31	ラポールひらかた 大研修室	・お口の健康づくりと熱中症予防 ・認知症予防のための楽しいレクリエーション ・サロンで活かせる食事の知識 ・頭も体も元気に ロコモ体操+α 講師:枚方市立保健センター 管理栄養士、保健師、理学療法士、作業療法士	71

⑤校区ふくしのまちづくり計画推進会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
1/19	ラポールひらかた 研修室1	校区ふくしのまちづくり計画懇談会 ・校区まちづくり計画の役割と策定について ・グループワーク・討議 ・全体共有・まとめ	26

⑥小地域ネットワーク活動リーダー研修会

主催：大阪府社会福祉協議会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/13	大阪国際交流 センター	【基調講演】 「民生委員・児童委員との連携による見守りに向けて」 講師：大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授 小野 達也 氏 【パネルディスカッション・実践報告】 「民生委員・児童委員との連携による 見守りの実践から学ぶ」 ～多彩な地域活動の実践から今後の地域活動に おける工夫や連携のあり方を考える～ 報告者： 松原市「子どもサロンによる居場所づくりの連携」 河内長野市「防災の観点から見た取り組みの連携」 交野市「ごきげんさん連絡協議会と 民生委員児童委員の連携について」	28

(3) 小地域ネットワーク活動推進事業

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全45校区福祉委員会が、各校区の地域特性に応じて住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動を行った。

1) 個別援助活動

- ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
- ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動

2) グループ援助活動

- ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
- ・子育て中の親子が集まり、親同士の交流等を行う子育てサロン活動
- ・住民全般を対象とした世代間交流活動
- ・高齢者や障害者、性別、年齢などに関係なく地域の誰もが集える共生型サロン活動

3) 校区福祉委員会等活動

- ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
- ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

(4) その他の活動

- ・社協住民会員募集への協力(7月)
- ・献血街頭キャンペーンの参加 [夏期] 8/24、28 [冬期] 12/11、14
- ・歳末たすけあい募金運動への協力(12月)

7. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動は福祉をはじめ、保健・医療・環境・教育・文化・スポーツ・防災など幅広く、活動内容も多様化している。また、高齢化・核家族化が進む中、ひとり暮らしの高齢者が増え、さまざまな個別的な生活支援が求められるようになってきている。

今年度は市民がより利用しやすいボランティアセンターを目指し、新たな担い手の発掘、育成に取り組んだ。認知症予防ゲームボランティアグループ「だんご」や傾聴ボランティアグループ「てんとうむし」の立ち上げを支援し、「第2回よどがわ防災まつり」では近隣大学の学生ボランティアとの関係づくりに取り組んだ。また福祉教育の一環として小、中学校などで車いす講習や、白杖アイマスク体験の講習も実施した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター開所状況 (単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	21	244

② 相談・コーディネート活動

1) 来所者状況

(単位：人)

来所形態	件数
来所	3, 435
電話	1, 476
計	4, 911

内 容	件数
ボランティア活動相談	322
ボランティア依頼相談	590
各種情報提供	3, 117
ボランティア保険受付	556
交流	169
サロン・講座	157
ちよいボラ	0
計	4, 911

性別	件数
男性	1, 761
女性	3, 150
計	4, 911

2) 来所者内訳

(単位：人)

来所者	件数
現任ボランティア・グループ	2, 632
学 生	43
一般市民 (主婦・シニア等)	746
地域(民生委員・福祉委員会・団体)	469
学校・教育関係	102
福祉施設・医療関係	302
行政・他市社協	259
その他団体	358
計	4, 911

対応結果	件数
調整 (活動・依頼)	912
調整不可	21
取り下げ	10
相談・情報提供 講座・他	3, 968
計	4, 911

3) ボランティア登録状況 (平成30年3月末現在)

- ・登録者数 920人 (うち新規登録者 122人)
- ・連携しているボランティアグループ
ボランティアグループ連絡会加入(40グループ)、その他(50グループ)の計90グループ

③ 枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/29	ラポールひらかた 研修室1	・新役員紹介 ・平成28年度ボランティアセンター事業報告 ・平成29年度ボランティアセンター事業計画 ・夏休み体験プログラム ・意見交換等	14
2/26	ラポールひらかた 研修室1	・新役員紹介 ・平成29年度ボランティアセンター事業報告 ・平成30年度ボランティアセンター事業計画(案) ・意見交換等	12

④ ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内40団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開している。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」の総会や研修などを役員から選出し、府レベルの活動にも参画している。

1) 枚方市ボランティアグループ連絡会

- ・連絡会の開催(年間6回)
- ・役員会の開催(年間6回)
- ・枚方市敬老式典での高齢社会憲章朗読
- ・「赤い羽根」募金運動 街頭募金協力(10/1※雨天のため中止、10/2 計2回)
- ・社協ふくしフェスティバルの運営に協力(11/11)
- ・機関紙「ひろば」の発行(年1回/1000部)

2) 大阪府市町村ボランティア連絡会(計6回)・総会、代表者会議、河北ブロック交流会、研修会

⑤ ボランティア関係機関との連携

1) ボランティア、市民活動中間支援組織との連携

- ・NPO法人 ひらかた市民活動支援センター理事就任

2) 他市社会福祉協議会との交流会

- ・河北ブロックボランティアセンター担当者会議 計2回

3) 行政機関への協力

- ・保健センター主催 健康サポーター養成講座 講師

⑥ 情報提供、啓発活動の状況

1) 機関紙、冊子の発行

- ・情報紙『ぼらんていあアドバイザーニュース』発行(年4回/各1,000部)
- ・ボランティアセンターのパンフレット配布

2) 情報媒体への提供・協力

- ・社協だより・広報ひらかた
- ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等

3) 各種機器、機材の貸与事業

- ・点字板 5件
- ・白杖・アイマスク 13件
- ・車椅子 22件

⑦ ボランティアセンターホームページの運営

ホームページを活用して、ボランティアセンターの活動の様子や、センターが保有する各種情報の提供を行った。助成金情報をはじめ、福祉施設・ボランティアグループからのボランティア募集情報等を掲載。また、連携をとっているボランティアグループの情報を掲載した。

(2) ボランティア・市民活動者・育成支援

- ① ボランティア体験プログラム…市内各施設・ボランティアグループの協力を得て、ボランティア体験の機会を設定した。

【実施期間】 7月1日～9月30日

【協力施設】 39施設 (障害者施設：6/高齢者施設：10/保育所：8/VG：15)

【参加人数】

参加対象	高校生以下	大学生 専門学生	社会人	合計
人数(人)	12	12	62	86
延日数(日)	24	29	130	183

② ボランティア・市民活動講座

- ・手作りおもちゃ講習会(協力グループ：牧野おもちゃライブラリー) ※総合福祉会館と共催
7月6日「布の手作りおもちゃ講習会」
2月1日「うさぎとくまのパペット作り」
- ・夏休み工作広場(おもちゃ病院ひらかたと共催)
8月10日「リモコンで赤外線銃を作ろう」
- ・傾聴ボランティア養成講座
10月6日、13日、20日、27日 講師 吹田傾聴ほほえみ
- ・認知症予防ゲームリーダー養成講座
1月16日、18日、23日、31日、2月6日 講師 NPO法人 認知症予防ネット
- ・健康講座講座 (枚方市地域栄養士会栄養アドバイザー「萌」と共催)
1月15日「食の基礎知識講座」
- ・ボランティア講座
3月13日「今からできるボランティア活動の紹介」(福祉センター主催)

③ 中学生及び地域住民への福祉体験講座を実施

市内小学校21校、中学校8校、地域・その他6カ所で、車いすやアイマスク・白杖体験、高齢者疑似体験を実施。

④ 新規ボランティアグループの立ち上げ支援

平成28年度に養成講座を受けた方の有志がグループ立ち上げに向けて、月一回の定例会の開催や活動場所の発掘などを支援した。

- ・認知症予防ゲームボランティアグループ「だんご」(平成29年9月結成)
- ・傾聴ボランティアグループ「てんとうむし」(平成29年10月結成)

(3) ボランティア・アドバイザー育成・設置事業

ボランティア活動の経験を生かして、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行う「ボランティア・アドバイザー」を設置。朝・昼・ター日3回職員が入り引き継ぎを兼ねたミーティングを実施。

【ボランティア・アドバイザー】 10人

1日延べ4人、2交替の体制で配置。(従事時間：午前9時30分～午後5時)

※ミーティングを毎月第4火曜日、年間12回開催

① ボランティア・サロンの開催

「ボランティアセンターはボランティア活動者の交流地点」をテーマに、年3回アドバイザーが企画・運営。

- 8月 ペットボトルでの的あてゲーム作り(協力グループ：おもちゃ病院ひらかた)
- 12月 歌声サロン(協力グループ：ギターサークルひらかた)
- 3月 朗読サロン(協力グループ：朗読グループさつき)

(4) 災害時の支援体制づくり

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施や、災害時支援ボランティアの養成など、災害時に活かせる支援体制づくりを行ってきた。また、昨年度に引き続き、防災イベントの開催を災害ボランティアリーダーや大学生ボランティアと協力し、産官学民労の協力を得て、体験型のイベントを開催した。

① 災害時支援者の養成

平成29年12月21日(木) ラポールひらかた 大研修室 参加者 41名災害時支援ボランティアを対象に研修を行った。近年、地震や風水害による被害が全国各地で発生しており、被災地で活動されるボランティアの数も年々増えている。

淀川河川事務所 地域防災調整官の木瀬龍也氏をお招きし、「水害について」を主なテーマに南海トラフが起きた際の淀川の被災状況や、中規模水害の対策について、またア天野川や穂谷川などの内水の被害についても講演していただいた。

② 災害時要援護者支援ボランティアの募集

- ・募集期間 通年
- ・登録者数 188人
- ・啓発方法 広報ひらかた、社協だよりに掲載記事掲載。募集チラシを配布。

③ 災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、校区コミュニティ協議会や民生委員児童委員協議会の協力による、災害発生時に自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象とした登録受付、登録者リストの作成を行い、支援体制づくりをすすめた。

(要援護者登録状況) 1,364人(男性 331人 女性 1,033人)
65歳以上の高齢者1,245人、障害者119人(平成30年3月末現在)

④ よどがわ防災まつり(淀防)開催

昨年度に引き続き、市民に防災意識を高めてもらうことや、日頃からあらゆる機関が関係を築き、いざという時に連携するために、行政や社協、企業、大学など昨年度より14団体上回る35団体が集まり、防災イベントを開催した。

今年度は4大学から5団体の約30名の学生ボランティアが合同で防災に関するクイズラリーや、手作り防災グッズのワークショップなどのブースを企画した。

(日 時) 平成30年2月17日(土) 午前10時～午後3時
(場 所) ラポールひらかた
(参加団体) 35団体
(来場者数) 600人

⑤ 災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションの実施

例年行っている災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションを今年度はよどがわ防災まつりと合同で実施した。また初めて一般市民にも公開し、災害ボランティアについて約30分の受付からコーディネート、活動、活動報告までの流れを体験した。

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	参加者数
2/17	ラポールひらかた	【テーマ】震度6の地震が発生。被災地となる第2回よどがわ防災まつりと合同で開催し、北河内の市社協と連携し、初めて一般市民に公開。 1) 災害ボランティアセンター運営訓練 2) 災害ボランティアセンターについてのガイド、参加者の振り返り	80

8. 献血推進事業

全国的に少子高齢社会が進行し、血液製剤の国内自給を目指して、献血人口の拡大と400ml献血の献血者を安定的に確保する必要性を関係機関等に強く訴え、平成29年度は400ml献血の推進を図るとともに、若年層の献血への参加に向けた取り組みや庁内献血に重点を置き活動を展開した。

また、枚方市駅献血ルームの啓発活動として、関係機関・団体等の協力により、市内全域にポスターを掲示し、献血推進に努めた。

(1) 事業内容

①血推進協議会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/27	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市献血推進協議会設置要綱の変更について ・平成28年度枚方市献血推進協議会事業報告及び平成29年度事業計画について ・平成28年度枚方市駅献血ルームの献血実績及び平成29年度事業計画について ・枚方市駅献血ルームの定休日の変更について ・枚方市夏期献血街頭キャンペーンについて 	18
10/23	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市夏期献血街頭キャンペーン結果について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーン実施計画について ・枚方市上半期献血実績について ・冬期献血の現状と取組について 	14

②研修会開催

7月27日

テーマ：「献血の現状について」

講 師：大阪府赤十字血液センター

北大阪事業事業 所長

北大阪事業課長事務取扱

安原 武志 氏

参加者：献血推進協議会委員 11人

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前献血ルーム周辺及び京阪樟葉駅前周辺で、枚方市献血推進協議会委員ならびに献血推進員（校区福祉委員会会長）が、ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。また、キャンペーン実施場所でハンドマイクにて献血協力を呼びかけた。

(単位：人)

	実 施 日	場 所	啓発参加者数	受付者数	採血者数
夏 期	8月24日	枚方市駅前（ルーム前）	23	48	43
	8月28日	枚方市駅前（ルーム前）	19	33	22
	小 計		42	81	65
冬 期	12月11日	京阪樟葉駅前	18	35	29
	12月14日	枚方市駅前（ルーム前）	19	40	37
	1月30日	枚方市駅前（ルーム前）	11	48	46
	小 計		48	123	112
	合 計		90	204	177

【実施時間】

枚方市駅前（ルーム前）：午前10時～11時 午前11時30分～午後12時30分

京阪樟葉駅前（夏期）：午前10時～11時 午前11時～午後12時

（冬期）：午前11時30分～午後12時30分 午後12時30分～1時30分

※1月30日は、午後1時30分～2時30分まで（枚方市赤十字奉仕団婦人部会）

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、21校区において献血を実施した。広報活動として、PR用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を行った。

枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスター掲示の協力を呼びかけ、献血推進の啓発に努めた。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を展開した。

(2) 枚方市献血実績

(単位：人)

実施区分 (域)	受付者数	採血者数	採血者内訳			主催団体 実施場所等
			200ml	400ml	成分	
街頭	1,843	1,583	46	1,537	0	枚方市駅前 樟葉駅前
		85.9%	3%	97%	0.0%	
学域	1,349	1,016	215	801	0	大学・専門学校等
		75.3%	21.2%	78.8%	0.0%	
職域	1,972	1,596	97	1,499	0	事業所・病院 市役所等
		80%	6%	94%	0.0%	
校区	828	688	74	614	0	校区福祉委員会等
		83%	10.8%	89.2%	0.0%	
献血者計 (小計)	5,992	4,883	432	4,451	0	街頭～地域 の合計
		81%	8.8%	91.2%	0.0%	
献血ルーム	15,727	14,416	397	5,959	8,060	枚方市駅献血ルーム
		91.6%	2.7%	41.3%	56%	
総合計	21,719	19,299	829	10,410	8,060	採血車・献血ルーム の合計
		89.6%	4.3%	53.9%	41.8%	

(採血者数下の％は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の％は、採血者数に対する構成比。)

9. コミュニティソーシャルワーカー配置事業

市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、①地域福祉の計画的推進への支援②セーフティネット体制づくり③要援護者に対する見守り・相談④地域住民活動のコーディネート、企画・立案機能の強化に取り組んだ。

特に、地域における高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とする人、またはその家族・親族等の支援や事業啓発を行うとともに、身近な所で気軽に相談できるよう、「出張相談会」の開催の拡充を図った。また、民生委員・児童委員の地区委員会や、校区福祉委員会が開催するサロン等に出席し、地域団体・専門機関と連携を図りながら、地域福祉の向上と要援護者の自立生活の支援のための基盤づくりを進めている。

CSWの啓発事業として、関係機関を対象に事例検討会を開催し、関係機関との顔の見える関係構築を進めた。また、社会福祉施設地域貢献連絡会と連携し、市内ショッピングモール内の空きスペースで合同出張相談会を開催した。

(1) 要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守

りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

①年間相談件数

(単位：件/人)

【相談対象者別】	延べ件数	件数	相談者数	
高齢者	1,677	598		
（うち）1人暮らし高齢者	(621)	(253)		
（うち）高齢者のみの世帯	(567)	(168)		
（うち）上記以外の高齢者	(489)	(177)		
障害者	921	268		
（うち）身体障害者	(59)	(31)		
（うち）知的障害者	(113)	(45)		
（うち）精神障害者	(701)	(161)		
（うち）上記以外の障害者	(48)	(31)		
子育て中の親子	160	77		
一人親家庭の親子	102	37		
青少年（39歳以下）	83	42		
DV被害者	55	13		
ホームレス	1	1		
外国人（中国帰国者を含む）	0	0		
中高年、40歳以上	192	93		
地域活動者・住民	1,646	547		
その他（上記以外）	128	92		
合計	4,965	1,768		1,560

【相談内容別】 ※重複該当を含む	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	1,468	636
生活に関する身近な相談	1,883	830
健康・医療に関する相談	624	234
生活費に関する相談	731	284
就労に関する相談	255	87
財産管理・権利擁護に関する相談	276	90
消費者被害に関する相談	34	18
多重債務に関する相談	93	32
DV・虐待に関する相談	127	44
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	1,829	662
住宅に関する相談	155	38
子育て・子どもの教育に関する相談	151	58
近隣トラブル	291	122
ひきこもり・社会的孤立	111	39
その他（上記以外）	314	56
合計	8,342	3,230

②ケース検討会等の随時開催

③身近な所で相談できる出張相談会（市内20ヶ所）の開催

[定例相談会] 校区福祉委員会等が開催するサロンや拠点施設で定例の相談コーナーを開設中
部5ヶ所 / 北部5ヶ所 / 南部6ヶ所 / 東部4ヶ所

[枚方宿くらわんか五六市 CSW啓発コーナー] 毎月第2日曜日に設置

[臨時出張相談会] 11/11 社協ふくしフェスティバル(社会福祉施設地域貢献連絡会と共催)

1/31~2/2 イズミヤ枚方店 福祉なんでも出張相談会 (")

2/11 子ども食堂全員集合(市民会館・岡東中央公園)

その他、小地域ネットワーク活動で随時開催

(2) CSW事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

①CSW配置事業定例会(枚方市・社会福祉協議会・枚方人権まちづくり協会)の開催(12回)

②CSW事例検討会の開催(6回)

③社会福祉施設地域貢献連絡会との連携

④(高齢者)地域ケア会議、多職種連携会議・研修会への参加

⑤介護予防日常生活支援総合事業への参加・参画

⑥枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議への参加

⑦枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議への参加

⑧枚方市自立相談支援センター支援調整会議への参加

⑨ファミリーポートひらかた地域連絡会への参加

⑩大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー連絡会への参加

⑪民生委員児童委員協議会 研修会・見える化プロジェクト等での事例報告

⑫「枚方市福祉セミナー」の開催協力・参画

⑬府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

⑭くずは地域懇談会への参画

(3) 広報・啓発活動

①介護・福祉・健康講座(7/25、1/27)

……総合福祉センター、地域包括支援センター東香会、CSWの三者で協同開催

②社協だよりにPR記事掲載(6月、9月、12月、3月)

③各校区福祉委員会発行の広報紙にCSWの啓発記事を掲載

④啓発資材の作成と配布:活動事例集1,200部/パンフレット6,000枚/啓発ティッシュ5,000個

⑤CSW啓発事業 事例検討会

CSWが日常的に連携している各関係機関を対象に事例検討会を実施、CSWの機能・事例と共に、事例検討会から見えてきた「顔の見える連携」の大切さについて紹介した。

また、複合課題のある家庭への支援についてCSWより発題し、各関係機関の特性でどのような支援が出来るのかについて、グループワーク形式で議論した。

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
11/27	ラポールひらかた 大研修室	<p>【活動報告】「CSWの取り組みについて」</p> <p>【事例検討】「複合課題のある家庭への支援について」</p> <p>グループワーク形式で議論。事例を通じた連携によって得られる多様な視点や気づきについて確認</p> <p>助言者:大阪市立大学大学院 生活科学研究科・生活科学部 講師 鶴浦 直子 氏</p> <p>報告・発題者:いきいきネット相談支援センター 社会福祉協議会 北部・中部</p>	26

⑥枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会 市民啓発事業・研修会 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
12/25	ラポールひらかた 大研修室	【市民啓発事業】 映画会「さとにきたらええやん」	105
		【会員研修会】 活動報告「CSWの取り組みについて」 ～CSWが関係機関と連携した 伴走型の支援について～ 報告者：いきいきネット相談支援センター 社会福祉協議会 北部・東部	47

10. 福祉サービス利用援助事業

昨年度に引き続き当事業のニーズは高まり、利用希望者（関係機関を含む）からの相談、問い合わせは多かった。待機解消のためにも、生活支援員の増員を行ったが、解約が相次いだため、利用者の増加には繋がらなかった。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- 1) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- 2) 日常的金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- 3) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- 4) 監査委員会の運営（年2回開催）
- 5) 関係機関との連携

③職員体制

専門員4人

生活支援員（サポーター）7人（うち5人は週5日（うち1人は2月より時間延長） 7時間45分、2人は4日 5時間）

(2) 実績

①サービス提供状況（契約件数 130件 ※昨年度末133件） (単位：件)

	福祉サービス 利用援助 ・金銭管理	福祉サービス利用 援助・金銭管理 ・書類預かり 【貸金庫利用者】	計	内訳	
				新規	解約
認知症高齢者	41	7	48	9	15
知的障害者	19	21	40	5	3
精神障害者	29	13	42	6	5
計	89	41	130	20	23

※解約理由：死亡9件/成年後見4件/本人希望2件/施設入所4件/親族支援3件/他市転居1件

②専門員稼働状況 (単位：件)

専門員	問い合わせ	初回相談	訪問
		42	39

※訪問（初期訪問、ガイドライン調査、相談援助訪問等）

(単位：件)

生活支援員	訪問			手続代行等
	金銭授受	身上監護	計	
	3,086	263	3,349	

③説明会・研修会への出張

月日	内容	対象
4/26	事業説明会	民生委員児童委員協議会地区委員会（香里・五常・開成・山之上）
5/25	事業説明会	民生委員児童委員協議会地区委員会（高陵、磯島）
6/27	事業説明会	大阪府立むらの高等支援学校（高校3年）
12/16	事業説明会	民生委員児童委員協議会地区委員会（春日、東香里、香腸）
2/22	事業説明会	民生委員児童委員協議会地区委員会（殿一・小倉）

1.1. 精神保健福祉推進事業

昭和46年に枚方市が制定した「精神衛生都市宣言」の趣旨を踏まえ設立された枚方市精神保健福祉推進協議会の運営を通じて、関係機関・団体と連携を図り、精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発とともに市民の誰もがこころの健康を維持できるように思春期児童・生徒の「こころの健康づくり」を目的とした事業を実施した。また、こころに病のある人とその家族などによる当事者活動への支援及び精神保健福祉ボランティア活動の支援などを行った。

(1) 精神保健福祉推進事業

①枚方市精神保健福祉推進協議会の開催状況

精神保健福祉の制度・施策に関する最新情報、枚方市における当事者活動の状況、心の健康に関する課題などについて関係機関・団体と共有することにより、効果的な事業推進を行うことができた。

(単位：人)

月日	場所	内容	出席数
9/5	ラポールひらかた大研修室	<ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介 副会長(1名)について 設置要綱の改正について 平成29年度上半期事業経過及び下半期予定について 各団体からの報告について 	19
3/19	ラポールひらかた研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介 平成29年度 事業報告について 平成30年度事業計画について 企画検討部会の活動報告 各団体からの報告について 	17

②企画検討部会の開催状況

心の健康づくりや心の病についての正しい知識の普及を図るための企画検討を実施した。本年は、心の病の若年層をテーマとし、教育委員会・学校と連携を図り、教職員を対象とした研修等により思春期児童の心の病などについての情報提供を行うなど、普及啓発を行った。

(単位：人)

月日	場所	内容	出席数
5/31	ラポールひらかた特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介について 平成28年度 事業報告について 平成29年度 事業計画について 取り組みの方向性について 	9

7/13	地域活動支援センター パオみのお (社福) 息吹	・箕面市の福祉教育について視察研修	参加者 4
30年 2/28	ラボールひらかた 特別会議室2	・平成29年度 事業報告について ・平成30年度 事業計画について ・取り組みの方向性について	10

③ふれあい交流事業の実施状況

1) しあわせHOTフェスティバル

地域で暮らす心の病を持つ人が、安心して過ごせる地域づくりの輪を広げていくことを目的に、当事者を中心としたワーキンググループにより、交流イベントの企画・運営を行った。当事者・関係機関を中心に、多くの市民が参加し、心の病を持つ人が地域で暮らすことについて理解を広げることができた。

- ・テーマ：「みんなでかたろう会」
- ・主催：ふれあい交流事業ワーキンググループ
- ・後援：枚方市・枚方市教育委員会・大阪精神医療センター・関西記念病院
東香里病院・枚方市社会福祉協議会

*ワーキンググループの開催状況 11回（主催団体のメンバー14人）

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
12/9	ラボールひらかた 大研修室	「しあわせHOTフェスティバル」 こころの病の当事者や、関係機関の職員が、テーマ別に分かれ、参加者同士が語り合い発表した。最初に関西外国語大学 JAZZ 研究会 (BEATS) による演奏を行った。	68

④ゼミナール・講演会等の開催状況

当事者や専門の講師を招き、精神保健福祉の重要性及び心の健康づくり、心の病等についての正しい理解を深め、差別や偏見のない住みよい社会を築くことを目的に研修会等を開催した。

1) こころの保健ゼミナール

(単位：人)

月日	場 所	内 容	参加者数
9/1	ラボールひらかた 大研修室	テーマ「精神障害者の地域支援について」 講 師：NPO 法人 陽だまりの会 理事長 河野 和永 氏	47

2) こころの健康講座

(単位：人)

月日	場 所	内 容	参加者数
30年 1/25	ラボールひらかた 研修室1	テーマ 「不登校とひきこもり」 講 師：枚方市子ども総合相談センター 臨床心理士 南波 英和 氏	16

3) こころの健康講座(当事者団体と共同開催)

(単位：人)

月日	場 所	内 容	参加者数
30年 2/4	ラボールひらかた 大研修室	テーマ：「家族の回復×本人の回復」 講 師：安東医院 ソーシャルワーカー 松浦 千恵 氏	103

4) こころの映画会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	参加者数
30年 2/21	ラポールひらかた 大研修室	映面上映会 「ペコロスの母に会いに行く。」	97

⑤セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病を持つ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動の支援を行った。

⑥こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（1月1日・2日を除く）午前10時～午後4時

相談員：研修を経た相談員 約70人 交代制

実施日数：363日

相談件数：3,537件（内訳：男性1,431人・女性2,106人）

⑦心の健康相談の実施

こころの問題全般について、適切なアドバイスを行うために専門家による相談を実施。

相談日時＝毎週金曜日（祝日は休み）午後1時～4時（ラポールひらかた 1階相談室）

相談員＝精神保健福祉士・臨床心理士 など

実施日数：49日 相談件数：50件

⑧広報・啓発等の状況

啓発資材の配布（社会福祉協議会等の主催事業時に適宜配布）

・枚方市精神保健福祉推進協議会の啓発用パンフレットを適宜配布

・機関紙「ほっとTime」の発行（2,000部）各関係機関へ配布

(2) 枚方市自殺予防対策事業

枚方市自殺予防対策事業は、自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成や市民への情報提供と啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

① 電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を終了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後1時～午後8時（1月1日、2日休）

・相談従事者 枚方市が実施する相談従事者育成のための研修を修了した者

・実施日数 155日・相談件数 669件

② 人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成及び、自殺を考えている人のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へとつなげる役割を担うゲートキーパーを養成するための研修を実施した。

1) フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に今回は主に傾聴の研修を行った。

・ケース・スタディ研修 44回 367名

・リーダー研修 11回 46名

・テープを聴く会 10回 96名

2) ゲートキーパー養成研修

自殺についての正しい知識の普及を図るとともに、自殺のサインに気づき、見守り必要に応じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に「自殺防止ゲートキーパー養成研修」を実施。

1回目

- ・開催日時 平成29年6月30日(金) 午後1時00分～3時00分
- ・講師 加古川市教育委員会青少年育成課教育相談センター
学校支援カウンセラー 阪中 順子 氏
- ・受講対象者 一般市民及び養護教諭
- ・参加人数 38人

2回目

- ・開催日時 平成29年9月12日(火) 午後1時30分～3時30分
- ・講師 大阪精神医療センター 精神科 医師 高橋 宏史 氏
- ・受講対象者 一般市民及び枚方市役所職員
- ・参加人数 45人

3回目

- ・開催日時 平成30年2月27日(火) 午後2時00分～3時35分
- ・講師 大阪精神医療センター 精神科医師 赤垣 由紀子 氏
- ・受講対象者 一般市民
- ・参加人数 32人

③ 普及啓発事業

啓発キャンペーンの実施や自殺予防をテーマとした講演会の開催、各種相談窓口記載のリーフレットの配布など、広く市民への情報提供と啓発を行った。

1) 啓発イベントの実施

自殺予防対策週間や自殺対策強化月間において、街頭啓発キャンペーンを実施した。

1回目

- 日 時 平成29年9月12日(月) 午後4時30分～1時間程度
- 内 容 啓発用クリアファイル配布
- 場 所 京阪電車 枚方市駅・樟葉駅

2回目

- 日 時 平成30年3月5日(月) 午後1時00分～1時間程度
- 内 容 啓発用ティッシュ配布
- 場 所 京阪電車 枚方市駅・樟葉駅

2) 講演会の開催

14年連続で自殺者数が3万人を超えていたが、平成24年以降減少傾向にある。

しかし、近年は10代・20代の若年層の自殺者が増えていることが新たな課題となっている。今回の映画は、産休をとることになった親友の音楽教師の代理として、生まれ故郷の中学校の臨時教師となった天才ピアニストが、コンクール出場を目指す合唱部の顧問になり、ときには負けそうで、泣きそうで、消えてしまいそうで、誰の言葉も信じたらいいのかわからない、苦しい中で生きている姿を映画化したもの。

映 画 「くちびるに歌を」 上映

- 日 時 平成30年3月23日(金) 午後2時00分～4時00分
- 場 所 ラポールひらかた 4F・大研修室
- 参加人数 97人

3) リーフレットの配布等の情報提供

各種相談窓口を記載したリーフレットを関係機関・団体や市民に配布することにより、広く市民への情報提供と啓発を行った。

12. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び自立・社会参加の促進を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を実施した。

個人や世帯それぞれの状況と必要性に合わせた資金、例えば、就職に必要な知識・技術等の習得や高校、大学等への就学のための資金などの貸付を行った。

低所得者や失業者等の生活再建に向け生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金には、生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費の3つの項目があるが、相談件数も減少しており、今年度は貸付に至ったものはなかった。また、離職者を支援する特定つなぎ資金も相談のみであった。

(1) 生活福祉資金貸付

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	39	45	49	63	45	12	94	66	30	48	64	64	619	1
貸付件数	9	7	9	11	4	4	10	11	6	5	12	11	99	

(単位：件/円)

区 分	貸付件数	貸付決定金額
福祉費	46	10,331,000
緊急小口資金	11	1,080,000
生活復興支援資金	0	0
教育支援資金	37	28,986,000
不動産担保型生活支援（一般世帯）	3	36,344,000
# （要保護世帯）	2	10,088,000
合 計	99	86,829,000

(2) 総合支援資金貸付

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	0	0	3	0	1	2	1	0	0	0	0	0	7	
貸付件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(3) 臨時特例つなぎ資金

(単位：円)

面接件数	申請件数	貸付件数	不承認件数	貸付決定金額（総額）
2件	0件	0件	0件	0

13. 住宅改造助成事業調査事務

重度身体障害者及び重度知的障害者(児)の人たちが、日常生活の自立や介護の負担軽減を図るため、心身の状況や家屋の構造などに合わせた住宅改造を行う場合、改造費用の一部を公的制度で助成。

本事業の推進のため、本会担当者と作業療法士や理学療法士等によるリフォームチームが介護支援専門員と連携し、利用者のニーズに応じた効果的な住宅改造の提案や相談・助言を行った。

(1) 重度障害者等住宅改造助成事業リフォームチーム開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/1	ラポールひらかた 施設長室	・28年度住宅改造助成事業事業報告 ・平成29年度前期募集利用者の現況報告	5

		・住宅改造助成事業の課題について ・平成29年度 募集要項の確認	
11/20	ラポールひらかた 施設長室	・住宅改造助成事業担当業務課題について	8

(2) 改造助成の相談状況及び改造箇所について (単位: 件)

区分	相談世帯	助成対象世帯	他制度を紹介
65歳以上	51	10	30
65歳未満	20	9	11
不明	26	0	10
計	97	19	51

・不明は匿名相談のため、年齢の区分なし。他制度を紹介は住宅改修費及び用具給付等、公的な融資制度などを指す。(個別支援に関する訪問稼働数延べ 66回)

(単位: 件)

区分	便所	浴室	玄関・アプローチ	階段	廊下	台所	居室	洗面・脱衣所	その他	計
65歳以上	3	6	7	3	4	1	3	5	2	34
65歳未満	4	8	5	3	4	2	2	5	1	34
計	7	14	12	6	8	3	5	10	3	68

【改造内容】

(合計: 65歳以上ケース/65歳未満ケース 単位: 箇所)

※改造箇所・内容については重複集計。

手すりの取り付け (10件: 6/4)、段差解消 (16件: 9/7)

床材変更・床上げ (7件: 2/5)、便器の洋式化・改善等 (1件: 1/0)

扉の変更・改善等 (6件: 4/2)、シャワーの設置・蛇口改善 (6件: 3/3)

浴槽改善等 (8件: 5/3)、段差解消機・昇降機設置 (1件: 0/1)

【アンケートの集計内容】

※利用者満足度 100% ※改造による効果 100% ※ニーズを実現したケース 19件

14. 乳児家庭全戸訪問事業

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、有資格者または子育て支援活動の経験がある訪問員が全戸訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行う。同時に、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげるなど、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

(1) 訪問件数 (単位: 件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
出生者数	268	205	247	250	224	200	248	238	236	229	234	247	2,826
訪問家庭数	223	159	193	193	158	145	184	194	192	188	191	202	2,222

*訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

(2) 訪問員

・訪問員数 52人 (平成30年3月31日現在)

・訪問員の要件 ①保育士等の有資格者 ②子育て支援活動の経験のある者

①または②の条件を満たした上で、確実にケースを担当できる者および年3回の研修に出席することができる者

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に実施した。

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/29	ラポールひらかた 大研修室	子育て支援室より情報提供 保育所入所の手続きの流れ 研 修 『訪問員の心得』 講師：金澤 栄子 相談員	44
9/27	ラポールひらかた 大研修室	研 修 「訪問の基本姿勢 ～訪問記録を書く上で～」 講師：種智院大学 人文学部 社会福祉学科 准教授 近棟 健二	36
1/31	ラポールひらかた 大研修室	研 修 (グループワーク) 「現在のお母さん事情」 講師：ファミリーポートひらかた 山下 裕美氏	43

※訪問員交流会（綿毛の会）年8回開催

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課（子育て支援室・子ども総合相談センター・保健センター）が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に毎月開催。

開催日：4/14、5/19、6/12、7/19、8/21、9/13、10/13、11/13
12/1、1/17、2/13、3/14

(5) 相談員の設置

訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、相談員として保育士資格者を1人配置し、訪問員に助言や指導を行う。年間40日間実施。

15. 16. 地域包括支援センター事業（第1圏域・第2圏域）

本会は、市内の地域包括支援センター13カ所の内、第1圏域（社協こもれび）と第2圏域（社協ふれあい）を担当し、介護予防・日常生活支援総合事業、介護予防支援事業、介護支援専門員や介護保険事業所の後方支援や医療・介護施設のネットワーク、成年後見・高齢者虐待対応等の権利擁護に取り組んでいる。また、認知症対策として、全市的に取り組んでいる「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」「高齢者見守り110番」においても徘徊高齢者や支援が必要な高齢者の早期発見につなげることができ、相談件数が大幅に増加している。介護予防・日常生活支援総合事業の一環としてスタートした元気づくり・地域づくりプロジェクトについては、第1・2圏域5校区のうち、4校区で元気づくり・地域づくり会議が設置され、地域における高齢者の居場所づくり等、元気なうちから高齢者の居場所や役割、活躍の場をつくる取り組みが進んできている。

また、地域における医介連携の仕組みとして、地域包括ケアシステムの構築を加速させており、地域包括支援センターが中心となって各種取り組みを行っている。具体的には、各圏域内の医療・保健・福祉の実務面での連携を図るために各専門職が顔をそろえる「多職種連携研究会」を実施。他にも、専門職だけではなく、校区コミュニティ協議会や福祉委員会、民生委員児童委員等、地域住民も一緒になり、各地域における地域課題を共有するための地域ケア会議も開催した。社協こもれびでは、圏域内の樟葉・樟葉南・樟葉北校区において2回づつ校区地域ケア会議を開催。各校区で個別地域ケア会議も実施した。社協ふれあいでは、牧野校区で「牧野地域ケア懇談会」を2回、樟葉西校区で「樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議」を3回開催し連携を深めた。他にも昨年に引き続き、地域の開業医と介護支援専門員の懇談会をクリニックの待合室で実施した。

地域包括支援センター聖徳園を含めた3圏域合同でつくる「くずは地域懇談会（地域ケア会議）」は今年

10年の節目を迎え、構成メンバーの活動一覧を冊子にまとめるとともに、次年度以降の懇談会のあり方の検討を行った。3月のイベントでは、「障害者と高齢者のくらしを支えるために」をテーマに「認知症サポーター養成講座」と「福祉体験から障害者、高齢者を学ぶ」講座を行い、くずは地域の活性化と地域の連携の強化を図った。

地域における介護予防事業として、専門職が地域に出向き「高齢者元気はつらつ事業」「出前教室・講座」、認知症サポーター養成講座を継続して実施した。

(1) 介護予防プラン作成

第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	89	87	86	91	89	92	95	92	92	93	93	91	1090
委託	262	258	258	253	242	230	222	223	222	218	220	217	2825
月計	351	345	344	344	331	322	317	315	314	311	313	308	3915

第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	179	177	173	177	180	179	182	186	188	189	188	187	2185
委託	186	184	186	186	185	185	185	183	179	171	171	179	2180
月計	365	361	359	363	365	364	367	369	367	360	359	366	4365

(2) 総合相談

第1圏域（社協こもれび）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	82	46	62	65	69	48	46	62	65	69	54	62	730
来所	26	19	15	29	34	26	19	15	29	34	21	25	292
訪問	12	5	16	24	12	9	5	16	24	12	5	12	152
その他	2	1	2	2	5	0	1	2	2	5	2	5	29
月計	122	71	95	120	120	83	71	95	120	120	82	104	1203

*新規・継続を含めた件数

第2圏域（社協ふれあい）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	147	139	164	131	201	148	158	173	139	161	113	121	1795
来所	31	46	38	102	29	34	28	26	25	32	28	28	447
訪問	54	67	43	25	63	27	47	44	52	39	51	35	547
その他	1	2	4	2	1	1	3	2	4	2	1	2	25
月計	233	254	249	260	294	210	236	245	220	234	193	186	2814

*新規・継続を含めた件数。

(3) 各種事業の実施

①介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）

第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
11/13	中楠葉集会所	第1部 健康体操 「健康な身体はまず姿勢から」	15
11/14	中之芝自治会館		24
11/15	丘二自治会館		9
11/17	野田北集会所	第2部 認知症予防講座 「病気を知って認知症を予防しよう！」	29
11/20	北楠葉自治会館		27
12/12	咲が丘集会所		10
1/16	楠葉野会館		48
2/23	北船橋自治会集会所		34
3/16	町楠葉福社会館		11

第2圏域 (社協ふれあい)

月 日	場 所	内 容	参加人数
6/13	樋之上団地集会所	認知症予防教室「笑いヨガ」	18
6/30	センチュリー4番館	認知症予防教室「トーンチャイム」	32
10/31	センチュリー6番館	腰痛予防教室	26
11/14	枚方市市民交流センター	「男性向け料理教室」	4
11/20	西船橋自治会館	認知症予防教室「トーンチャイム」	18
1/16	楠葉生涯学習市民センター	「男性向け料理教室」	7
3/23	牧野生涯学習市民センター	「男性向け料理教室」	11
3/30	センチュリー6番館	認知症予防教室「トーンチャイム」	31

ハートフルタイム (第1圏域 社協こもれび)

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/29	楠葉生涯学習市民センター	懐かしい歌謡曲や唱歌 音楽セラピーひまわり	90
11/29	楠葉生涯学習市民センター	懐かしい歌謡曲や唱歌 ひらかたの爺さん	62

②地域ケア会議・事業所懇談会等

くずは地域懇談会 (第1圏域 社協こもれび・第2圏域 社協ふれあい共通)

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/16	谷口内科2階休憩室	くずは地域懇談会 第1回役員会	5
9/6	社協ふれあい事務所	くずは地域懇談会 第1回事務局会議	5
9/19	谷口内科1階待合室	くずは地域懇談会 第2回役員会	8
10/24	楠葉生涯学習市民センター	第1回くずは地域懇談会	16
12/12	谷口内科1階待合室	くずは地域懇談会 第3回役員会	6
1/19	楠葉生涯学習市民センター	第2回くずは地域懇談会	14
3/18	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会企画イベント テーマ「障害者と高齢者のくらしを支えるために ～認知症を知り、福祉体験から障害者、高齢者を学ぶ～」 午前の部：認知症サポーター養成講座 午後の部：「福祉体験から学ぶ」 社会福祉協議会 地域福祉課	18 7

第1圏域 (社協こもれび)

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/21	社協こもれび	ケアマネジャーとの懇談会	12
4/25	楠葉生涯学習市民センター 大集会室	第1圏域元気づくり地域づくり会議	24
5/31	楠葉生涯学習市民センター 大集会室	民生委員・児童委員と居宅介護事業所の懇談会 (樟葉・樟葉南・樟葉北校区)	28
6/5	楠葉生涯学習市民センター 大集会室	樟葉南校区地域ケア会議	35
6/13	楠葉生涯学習市民センター 大集会室	樟葉北校区地域ケア会議	42
6/19	楠葉朝日美咲自治会集会所	ひらかた元気くらわんか体操スタート支援	14
6/20	楠葉生涯学習市民センター 大集会室	樟葉校区地域ケア会議	36
6/20	中楠葉自治会集会所	個別地域ケア会議	18
6/22	楠葉生涯学習市民センター	訪問介護事業所懇談会	10
7/13	谷口内科待合室	多職種連携事務局会議	8
8/21	楠葉朝日美咲自治会集会所	ひらかた元気くらわんか体操スタート支援	16

8/21	くすのき診療所	待合室懇談会	14
8/28	中楠葉自治会集会所	ひらかた元気くらわんか体操スタート支援	22
10/26	楠葉生涯学習市民センター 大集会室	多職種連携研究会	49
11/13	楠葉生涯学習市民センター 第1集会室	樟葉北校区地域ケア会議	36
11/24	楠葉生涯学習市民センター 第1集会室	樟葉校区地域ケア会議	30
11/29	楠葉朝日美咲自治会集会所	第1圏域元気づくり地域づくり会議	21
12/11	楠葉生涯学習市民センター 第1集会室	樟葉南校区地域ケア会議	35
12/14	谷口内科	多職種連携事務局会議	8
12/20	デイサービスさわやか	事業所懇談会(通所介護事業所)	9
3/5	楠葉朝日美咲自治会集会所	ひらかた元気くらわんか体操スタート支援	14
3/5	特別養護老人ホームくずは 西美郷	個別地域ケア会議	12
3/19	中楠葉自治会集会所	ひらかた元気くらわんか体操スタート支援	16
3/23	楠葉生涯学習市民センター 第1集会室	第1圏域元気づくり地域づくり会議	25
3/26	くずは北デイサービスセン ター	個別地域ケア会議	9
3/27	北野整形外科	待合室懇談会	16

第2圏域(社協ふれあい)

(単位:人)

月日	場 所	内 容	参加人数
5/12	社協ふれあい事務所	第1回事業所懇談会(居宅)	16
6/22	社協ふれあい事務所	第2回事業所懇談会(全体)	20
7/10	田辺眼科	第1回待合室懇談会	8
7/12	楠葉生涯学習市民センター	第1回樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	50
7/12	楠葉生涯学習市民センター	第1回樟葉西校区民生委員懇談会	10
7/19	牧野アスティー	第1回牧野地域ケア懇談会	47
7/19	牧野アスティー	第1回牧野校区民生委員懇談会	9
9/14	社協ふれあい事務所	多職種連携研究会事務局会議	12
9/27	池上鍼灸整骨院	医療連携研修会	10
10/11	楠葉生涯学習市民センター	第2回樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	38
10/11	楠葉生涯学習市民センター	第2回樟葉西校区民生委員懇談会	6
10/25	牧野アスティー	第3回事業所懇談会(居宅)	12
11/9	牧野アスティー	第4回事業所懇談会(居宅)	20
11/16	牧野アスティー	第1回多職種連携研究会	22
1/5	はつたクリニック	第2回待合室懇談会	6
1/23	社協ふれあい事務所	第5回事業所懇談会(全体)	11
2/1	楠葉生涯学習市民センター	第3回樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	34
2/22	楠葉生涯学習市民センター	第2回樟葉西校区民生委員懇談会	14
3/8	楠葉生涯学習市民センター	第2回多職種連携研究会	39
3/20	牧野アスティー	第2回牧野地域ケア懇談会	37
3/20	牧野アスティー	第2回牧野校区民生委員懇談会	10
3/23	社協ふれあい事務所	第6回事業所懇談会(全体)	12

③地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	回数・出席数
	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ 出張相談会 4/14、5/12、6/9、7/14、9/8、10/13 11/10、12/8、1/12、2/9、3/9	11回
	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい 出張相談会 4/22、5/27、6/24、7/29、8/26、9/23 10/28、11/8、12/23、1/27、2/24 3/24	12回
	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ 出張相談 4/26、5/24、6/28、7/26、10/25 11/22、2/28、3/28	8回
	交野天神社境内	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生） 4/26、5/30、6/18、7/16、8/20 11/19、12/17、1/21、2/18、3/18	10回
	朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい 出前講座 4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13 10/11、11/8、12/13、1/10、2/14 3/14	12回
	朝日美咲自治会集会所	樟葉南校区いきいきサロン 出前講座 5/16、6/21	2回
	くずは北デイサービス	ふれあいカフェのぼりいけ 出張相談会 8/25、9/22、12/22、1/19、2/23 3/23	6回
	社協こもれび事務所	男性介護者のつどい 4/19、6/21、8/9、10/18	4回
5/16	楠葉野会館	いきいきオープンカフェ（出張相談）	25
7/20	楠葉野田公民館	楠葉野田老人会 出前講座	16
8/28	朝日美咲自治会集会所	楠葉美咲老人会（健寿会）出前講座	36
9/27	丘二自治会館	丘二老人会（納会）出前講座	17
12/21	野田北集会所	樟葉北校区（樟寿会）出前講座	16
1/26	北楠葉自治会館	樟葉北校区ひとり暮らし老人会新年懇親会 出前講座	60
2/19	中楠葉集会所	認知症サポーター養成講座（中楠葉自治会）	29
3/12	かんでんライフサポート本社	認知症サポーター養成講座	32

第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	参加人数
5/14	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぶく亭」出前相談（相談7件）	60
5/29	牧野生涯学習市民センター	牧野健康長寿セミナー くらわんか体操啓発等	150
6/18	くずは西美郷	認知症サポーター養成講座	22
6/11	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぶく亭」出前相談（相談9件）	60
6/27	楠葉並木集会所	出前相談、振り込み詐欺啓発等	23

7/9	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぶく亭」出前相談(相談4件)	60
7/31	牧野生涯学習市民センター	牧野健康長寿セミナー くらわんか体操啓発等	50
9/11	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぶく亭」出前相談(相談4件)	60
9/29	牧野生涯学習市民センター	牧野健康長寿セミナー くらわんか体操啓発等	50
11/15	楠葉並木集会所	老人会睦会「健康講座」	22
11/20	牧野生涯学習市民センター	牧野健康長寿セミナー くらわんか体操啓発等	60
11/28	樋ノ上団地集会所	樋之上みどり会「健康講座」	38
12/12	樟葉西小学校	認知症サポーター養成講座	111
1/29	牧野生涯学習市民センター	牧野健康長寿セミナー くらわんか体操啓発等	100
2/17	西船橋自治会館	西船橋五月会夢グループ くらわんか体操啓発	10
2/22	関西医大くずは病院	認知症サポーター養成講座	19
2/27	楠葉並木集会所	出前相談、くらわんか体操打合せ	20
3/19	牧野生涯学習市民センター	牧野健康長寿セミナー くらわんか体操啓発等	100
3/20	樋ノ上団地集会所	100円喫茶にてくらわんか体操啓発	15

④実習生の受け入れ

第1圏域(社協こもれび) 8人 第2圏域(社協ふれあい) 7人

(4) 地域密着型サービスの運営推進会議出席

第1圏域(社協こもれび)

グループホーム「はる」運営推進会議に出席(6回)

グループホーム「くずは丘」運営推進会議に出席(6回)

小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席(6回)

地域密着型通所介護「デイサロンあさひ」の運営推進会議に出席(2回)

地域密着型通所介護「デイサービスごきげん家・あつれごきげん家」の運営推進会議に出席(1回)

地域密着型通所介護「デイサービス一心」の運営推進会議に出席(1回)

地域密着型通所介護「ロンジェヴィテ125」の運営推進会議に出席(2回)

地域密着型通所介護「ミック健康の森くずは」の運営推進会議に出席(2回)

地域密着型通所介護「デイサービスさわやか」の運営推進会議に出席(2回)

第2圏域(社協ふれあい)

グループホーム「のぞみ」の運営推進会議に出席(6回)

小規模多機能ホーム「まきの美郷」の運営推進会議に出席(4回)

小規模特別養護老人ホーム「くずは西美郷」の運営推進会議に出席(6回)

地域密着型通所介護「デイサービスセンター豊生まきの」の運営推進会議に出席(2回)

(5) 地域包括支援センター関係者会議出席

市内13か所の地域包括支援センターの事業実施を円滑に推進するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会が定例で開催され、担当者が出席した。また、地域包括ケア推進実務者連絡協議会に出席し、第1圏域開催の多職種連携研究会活動報告を行った。

17. 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業と介護保険法による訪問介護事業を行った。

障害者を中心にホームヘルプ事業を展開しており、介護保険法によるホームヘルプ事業の占める割合は、全体の約10.3%となり、昨年度より減少した。

本事業において利用者の意思及び人格を尊重し、必要なサービスを提供した。また、サービスの一層の充実を図るため、月1回のサービス提供責任者会議、ヘルパー業務の見直しや環境の整備等

を検討する業務改善委員会、月2回のヘルパー会議、調理実習、年2回の現任研修会等を行い、ヘルパーのモチベーションや質の向上に努めた。また、バイクが必要不可欠な業務であるため、事故の防止を促し、年1回安全講習会を実施した。

事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の会長として利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、中心的な役割を担った。

また、本会の役割のひとつとして事業所の持つ介護技術や障害者への支援についてのノウハウを広く市民に提供するため、他事業所の研修会や本会の会館事業の介護講習会に講師として職員を派遣した。

(1) 利用者（契約）状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は9人（身体2人・知的5人・精神1人・児童1人・介護保険0人）契約解除者は9人（身体5人・知的1人・精神2人・介護保険0人・児童1人）。

新規契約者については、通院を希望する人が4人、他市からの転居3人、障害のある人同士の同居生活の支援の希望2人。3月現在の契約者は、全体で105人となっており、昨年度より7人の増となっている。

解約の理由は、転居3人、死亡2人、病院に契約入院となった人1人、ホームヘルプの必要性がなくなった3人である。

ヘルパー不足は変わらず、今年度はわずか2人のヘルパーの雇用のみ。契約終了者も2人で募集はしていたが、増とはならなかった。食事作りや食事介助、入浴等、ヘルプ時間は早朝夜間に集中し、人材の確保は継続的な課題であった。障害者の内訳は、知的障害者が47人（通院のみが必要な9人を含む）で最も多く、身体28人、精神16人、児童5人、難病1人となっている。

障害に起因する疾病等で入退院を繰り返すケースや家族の高齢化等により、通院介助の必要性が増えた人、一人暮らしとなって介護の必要性が増したケースが多くあった。本人の意向に添って、今後も在宅生活が可能ないようにケース会議を開く等、他機関との連携を行った。

(単位：人)

月	障害者総合支援法					介護保険法	事業合計
	居宅介護					訪問介護	
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	難病		
4	28	41	5	15	1	8	98
5	29	42	4	15	1	8	99
6	29	43	4	15	1	8	100
7	29	44	4	15	1	8	101
8	29	44	5	16	1	8	103
9	30	44	5	16	1	8	104
10	30	45	5	16	1	8	105
11	30	46	5	16	1	8	106
12	30	46	5	16	1	8	106
1	29	46	5	16	1	8	105
2	29	47	5	16	1	8	106
3	28	47	5	16	1	8	105

※新規契約者は月末に解約者は月初にカウント

(2) 利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間については、月平均 2,379 時間で、昨年度と比して16時間の増となった。内訳は介護保険の利用時間が月7時間減となり、障害福祉サービスにおいて、家事援助11時間の増、身体介護5時間の増、重度訪問介護4時間の増、通院介護3時間の増となっている。16時間の増については、利用者の7人増によるものである。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間								合 計
	障害者総合支援法居宅介護事業 (身体・知的・児童)			通院介護		介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護		生活援助	身体	身体→生活	
				伴う	伴わない				
4	394.9	1135.6	346.4	71.8	37.6	53.5	96.7	90.9	2,227.4
5	430.9	1277.0	380.0	87.8	36.6	58.5	102.8	90.6	2,464.2
6	404.6	1225.3	362.0	104.6	23.5	53.9	108.9	90.9	2,373.7
7	427.4	1222.7	358.9	98.0	16.8	56.9	99.9	90.0	2,370.6
8	436.1	1161.3	372.9	119.9	22.5	56.0	107.3	90.2	2,366.2
9	437.9	1185.3	355.9	110.8	20.4	53.8	97.6	84.4	2,346.1
10	425.2	1216.7	365.9	87.9	26.6	60.0	105.9	89.9	2,378.1
11	432.4	1261.1	365.9	84.6	33.8	59.1	103.5	83.1	2,423.5
12	422.3	1265.7	363.3	95.7	23.3	57.0	102.9	93.9	2,424.1
1	429.9	1263.3	373.8	83.0	24.6	55.0	75.5	87.8	2,392.9
2	398.7	1160.4	337.7	95.7	27.5	51.0	92.4	81.4	2,244.8
3	456.8	1310.7	374.0	94.8	41.4	56.0	112.7	92.6	2,539.0
合 計	5097.1	14685.1	4356.7	1134.6	334.6	670.7	1206.1	1065.7	28550.6
月平均 利用時間	2,379時間(総合支援によるホームヘルプ約 2,134時間 介護保険によるホームヘルプ245時間)								

(3) ホームヘルパー現任研修会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/17	ラボールひらかた 特別会議室2	「第2回 安全講習会」 株式会社いつも 武内 朗良 氏	15
11/19	ラボールひらかた 特別会議室2	「重度な障害があっても安心して暮らせる地 域社会をめざして」 NPO 法人 暖(のん) 八十高 美奈子 氏	37
3/18	ラボールひらかた 特別会議室2	「在宅生活について・当事者の立場から」 社会福祉協議会福祉図書コーナー 山神正樹氏	20

18. 移動支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、事業所及びショートステイ施設・入所施設への送迎等、利用者の意思及び人格を尊重し、多種多様なサービスを行った。

今年度は、よりスムーズなコーディネートが出来るよう情報を整理し、ガイドヘルパーへの依頼書をわかりやすく作成しやすいものへと移行した。連絡調整の手段として導入しているメールシステムについても、携帯電話とパソコンによるメールを必要に応じて使い分け、適切な派遣をおこなった。

また、ガイドヘルパーの質の維持向上のため、現任研修会を2回開催し、多くの参加が得られた。今年度については「救急法」を学ぶ機会を設け、いざというときに安心して対応できるよう実習をおこなった。また共通のテーマに沿ってディスカッションを重ねることにより、他のガイドヘルパーの活動の状況や支援の様子を理解し、問題や課題を共有化することができた。

障害者総合支援法のもと、支援の根幹である自己選択と自己決定により、本人の意思を聞き取り、ニーズに沿ったサービスを心がけた。コーディネート業務を主軸とし、利用者からの相談、ガイド

ヘルパーへの指導、助言等をきめ細かく行った。月1回サービス提供責任者会議を実施し、コーディネート効率化やケース検討・派遣調整、待機ケースの課題等について話し合った。

本事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているという観点から関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。

また、行政と事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

ガイドヘルパーの人材の確保については社協だよりに掲載したり関係機関に募集のビラの設置をお願いした。また稼働していないヘルパーの活用と整理を行い、登録はしているが1年以上活動がない人について登録抹消を行った。その結果年度当初292人の登録者について25人抹消し新規登録者12人と相殺で279人となった。若年層及び男性ヘルパーについては、ヘルパーの確保に努めたが、実際の稼働人数は40人程度にとどまっている。今年度も若年層等、幅広い実稼働できる人材の確保が課題であった。

(1) 利用(契約)者状況

移動支援事業では、新規契約者は8人(知的6人・身体1人・児童1人)。契約者は3月末現在、321人で、月平均、208人の契約者が利用している。解約者は3月末で3人。その内訳は死亡1人、高齢者施設への入居1人、他事業所への移行による解約が1人となっている。本会への契約希望者は多く、移動支援の利用のニーズの高さが伺えるが、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため、緊急の場合を除いて新たな契約者を制限している。今年度については3月末で10人が契約待機者となっており、これらの人を受け入れる努力をおこなった。その他、精神障害のある人で知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

(単位：人)

月	移動支援事業				合計
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	
4	14	293	7	1	315
5	14	293	7	1	315
6	14	293	7	1	315
7	14	296	7	1	318
8	14	297	8	1	320
9	14	298	7	1	320
10	14	298	7	1	320
11	14	300	7	1	322
12	14	300	7	1	322
1	14	301	6	1	322
2	14	300	6	1	321
3	14	300	6	1	321

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

(2) 利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1月の区切りで時間が制限されるのではなく3ヶ月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。今年度については5,000時間を超える月が6回あり、総利用時間は、59,991時間で月平均4,999.25時間。昨年度と比較して月平均約38時間の増となり昨年度からさらに増加し月あたり5,000時間に及ぶ時間数となった。原因としては利用者の家族の高齢化のため週末もガイドヘルプサービスを利用して過ごされる方が増えたことや利用者本人の加齢に伴う支援の増加等がある。新規利用者の受け入れを制限せざるを得ない状況等もあり大幅に増加することはないが、本事業については、依然としてニーズが多様化し、なくてはならない支援となっている。

(単位：時間)

移動支援事業						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
5,144	5,184.25	4,821.5	5,196	4,832.25	4,900	4,986.5
11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均利用時間
5,016	5,115.75	4,846.5	4,768.5	5,179.75	59,991	4,999.25

(3) ガイドヘルパー現任研修会

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
9/21	ラポールひらかた 大研修室	大阪ライフサポート協会 テーマ：「救急法と応急手当」	120
3/12 13	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「平成29年度在宅福祉課事業報告 およびガイドヘルパーの意見交流会」	67 59

19. くすの木園（生活介護）管理運営事業

今年度は、入所3人、退所1人があり35人の利用となった。

利用者個々の意思・個性を尊重し、利用者の立場に立った支援を心がけ、家族・地域・関係機関等と連携を図り、計画的・適切な支援に努めた。

施設への不法進入等犯罪の防止、利用者の事故防止のため、防犯カメラを設置した。

野菜販売に際しては、近隣住宅にチラシを全戸配布するなど、地域住民との交流に努めた。特に、官山町会とは、避難訓練への参加、夏祭りでの野菜の販売のほか、くすの木まつりへの協力をしてもらうなど交流する機会が定着している。

枚方市より、32年度民営化の方針が示されたので、保護者説明会を2回行った。

(1) 利用者状況（平成30年3月31日現在・在所者35人）

①年齢別の状況

(単位：人)

年齢	20歳未満	20歳以上～ 25歳未満	25歳以上～ 30歳未満	30歳以上	計	平均年齢
男	0	2	5	15	22	31.1歳
女	2	1	3	7	13	31.7歳
計	2	3	8	22	35	31.3歳

②在所年数の状況

(単位：人)

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	0	2	4	11	5	22
女	3	0	4	5	1	13
計	3	2	8	16	6	35

(2) 障害の状況

①療育手帳判定

(単位：人)

性別	判定	A	B1	B2	計
	男	22	0	0	22
女	12	1	0	13	
計	34	1	0	35	

②障害支援区分

(単位：人)

性別 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	2	2	10	8	22
女	0	0	1	3	5	4	13
計	0	0	3	5	15	12	35

(3) 月別在所者数・月別出席率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在所者数(人)	35	35	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35
開所日数(日)	21	22	24	21	21	21	22	22	21	20	21	21
在所者数×開所日数(日)	735	770	816	735	735	735	770	770	735	700	735	735
延利用数(人)	691	713	727	653	631	684	678	670	652	566	667	663
出席率(%)	94.0	92.6	89.1	88.8	85.9	93.1	88.1	87.0	88.7	80.9	90.7	90.2

(年間開所日数 257日 年間平均出席率 89.1%)

(4) 年間行事の実施状況

月	日	行 事	保護者会	土曜開所
4	3	入園式・新年度事業説明会	3日	22日
5				13日・27日
6	4	ふれあいフェスティバル(自由参加)	21日	10・24日
7	8	スポーツ交流会(自由参加)		22日
	9	スポーツ交流会代休(職員研修)		
8	10	I期終業日		
		夏休み 8/14~17		
	18	II期始業日	23日	5日・19日
		宿泊体験 8/25~8/26		
9				16日
10	20	くすの木まつり準備(代休)		
	21	第37回くすの木まつり	18日	7日
11	12	宮山町避難訓練(自由参加)		
	9~	第1回 外出活動	15日	4日
	20	9、10、13、14、16、17、20(全7回)		
12	22	クリスマスパーティー		
	17	ジョイフルクリスマス(自由参加)		2日・16日
	27	II期終業日		
		冬休み12/28~1/4		
1	5	III期始業日	24日	13日・27日
2	13~	第2回 外出活動		
	19	13、15、16、17(全4回)	21日	10日・24日
3	1~2	宿泊研修会(3/1~3/2)		
	23	年度末パーティー		10日・24日
	28	III期終業日		
		春休み 3/29、30		

(5) くすの木園運営懇談会の開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/15	枚方市立 くすの木園	・平成29年度の取り組みと今後の課題について ・利用者の活動見学(基本クラスの取り組み) ・利用者の意見発表と意見交換	13

(6) 作業収入集計表

(単位：円)

種類	牛乳パック	アルミ缶	箱折り	もぎり	銅線剥離	野菜販売	紙すきはがき	ふれあいコーナー	イベント他	計
金額	8,122	111,780	31,962	18,490	4,100	109,990	20,000	26,156	191,260	521,860

*作業収入から消費税及び地方消費税相当額を差し引いたものを本人支給費として、年間12回に分けて利用者に支給した。

(7) ボランティアの協力状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数	29	24	27	41	0	29	82	16	27	20	25	28	348

20. 地域活動支援センター(ゆい)事業

「地域活動支援センターゆい」は障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターI型事業や障害者相談支援事業、日中一時支援事業等を実施した。

地域活動支援センター事業では日中活動(創作活動・生産活動・サロン等)を行った。創作活動は地域のボランティアに講師を依頼し、手芸・料理・書道や手話等の講座も実施した。また餅つき大会やクリスマス会等のレクリエーションに地域の人たちも参加し、地域との積極的な連携を図ることができた。サロンは常時開催し、利用者やボランティア等市民の憩いの場としてセンターが有効活用され、サロンの活動を通しての相談も定着している。

「わいわいウォークラリー」は、雨天の為ラポールひらかた大研修室にて開催したが、昨年に比べて参加者も増え、障害のある人もない人もともに楽しめた1日となり好評であった。

障害者相談支援事業では、訪問や来所、電話などの方法により幅広い内容の相談を受けた。主な支援対象者は知的障害のある人であった。福祉サービスの利用についてや人間関係等の相談が多かったが、今年度は余暇や社会参加に関する相談も増え幅広い相談内容になった。基幹型相談支援センターとして支援困難なケースについても枚方市障害福祉室や他機関等と連携して支援を行った。

今年度は「障害者差別解消法」をテーマに障害のある人を対象とした学習会を2年間開催してきた総まとめとして冊子を作成し、障害のある人や関係者・市民に配布して障害者差別についての理解を広げ、啓発活動を積極的に行った。

「枚方市自立支援協議会」に幹事として参画し、枚方市や様々な機関と連携を図り、障害者施策についての検討や提案を行った。「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」では、事務局として会の中心的な役割を担った。枚方市と自立支援協議会主催の「ほっこりひらかた」は、今年度は映画・シンポジウム・講演会と「障害者差別」をテーマとして3回開催し、障害のある人について広く市民に啓発活動を行った。

日中一時支援事業は学齢期の利用者や引きこもり等の支援が必要な人のニーズに応えサービスを提供した。活動内容については散歩や園芸などの屋外活動、ドリル等用いた学習やランプ・料理・作品作りなどの屋内活動等幅広い活動を実施し充実を図った。

(1) 地域活動支援センター事業 I型

	基礎的事業			I型事業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び地域との連携のための調整	地域住民・ボランティア育成	障害に対する理解促進を図るための普及活動
合計	794人	232人	5,292人	136回	956人	25回

(2) ジョイジョイサークル活動・当事者の集い

(単位：人)

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内容
ジョイジョイサークル (月1回開催。市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動)	4月	17	1	お花見(山田池公園)
	5月	19	5	バーベキュー(四條畷市立野外活動センター)
	6月	20	0	ミーティング
	7月	8	2	スポーツ交流会
	8月	23	0	ミーティング
	9月	20	5	一泊旅行(愛知県方面)
	10月	17	0	ミーティング
	11月	18	5	外出活動(海遊館・京都鉄道博物館)
	12月	19	3	ジョイフルクリスマス会
	1月	17	2	新年会(ラポールひらかた)
	2月	16	4	ボーリング(WAVE34)
	3月	14	0	ミーティング
	ほっこりひらかた	年1回 (12月4日)	38	38
合計(延べ人数)		246	65	

(3) 学習会

(単位：人)

開催日	参加者人数	支援者等	合計
6月4日 障害者計画	35	13	48
2月4日 心肺蘇生法	37	17	54

(4) 日中一時支援事業

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	8	6	11	10	6	7	6	2	7	7	3	83

(5) 障害者相談支援事業

(単位：人)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
合計	963	76	537	62	26	960
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
合計	88	322	106	416	38	19
					相談總のべ人数	3,613

2.1. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し障害のある人の自立と社会参加を図った。

「ふれあいスポーツ交流会」では知的障害等のある人で構成される実行委員会を設立。実行委員

長と副委員長を中心に会議の司会進行を行うことができた。実行委員会で協力し合いながら大会の企画運営を行い、実行委員同士や事業所間の交流を深めることができた。アトラクションとして和太鼓・民舞サークルの方を呼び、迫力ある演技で盛り上がった。

「ジョイフルクリスマス会」では、参加者によるオープニング、閉会宣言などを行った。地域で活動するパンジョーバンドや、ジャグリングクラブの学生を呼び、生演奏やパフォーマンスを満喫した。参加者の楽しめるバリエーション豊かなプログラム構成で充実を図った。

(単位：人)

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内容
ふれあいスポーツ交流会	7/8	362	78	レクリエーション行事 枚方市立総合体育館
	実行委員会 計6回	のべ70 (実行委員12)	—	実行委員会参加団体 12団体
ジョイフルクリスマス会	12/17	105	6	レクリエーション行事 メセナひらかた

2.2. 共同生活援助事業

「れいんぼう」「ひまわり」「コスモス」「たんぼぼ」の4カ所の運営を行った。グループホームで快適な生活を送ることができるように一人ひとりの思いを尊重したホームの運営を目指した。

消防法令改正や高齢化の対応として、グループホーム「れいんぼう」を、3階建てから2階建ての建物へ移転し、内装不燃材によるリフォームなどを行い、3月に移転を完了した。

利用者の高齢化などにより休日、日中時間帯の介護、通院同行が必要になったグループホームに生活支援員を配置して対応した。また1月に体調を崩し入院していた利用者が亡くなり1名の退所となった。現在、利用者1人が入院中で病院と連携しながら対応している。

世話人研修や会議については、世話人の業務別(夜勤・調理)でそれぞれ設定し、より密な情報共有を行った。

より良いサービスの提供を目指して独自で利用者アンケートを実施し、利用者の意見を聞きとり問題点を把握して改善を図った。世話人にも、自己点検アンケートを実施して一人ひとりの日常の仕事についての見直しを行い、支援の向上に努めた。

また、世話人養成研修の実習の受け入れを行い、グループホームの推進を積極的に行った。

「枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会」を中心的に担い、枚方市内のグループホーム運営事業所と情報交換等により連携を深めると共に、グループホームの推進について意見交換を行った。また市内世話人を対象に「知的障害・発達障害の理解と支援について」・「グループホームの支援について」をテーマにグループホーム世話人研修会を年2回実施し、多くの参加があり世話人の資質の向上を図ることができた。

グループホーム世話人研修

(単位：回/人)

項目	回数	人数	内容	場所
世話人初任者研修	8	のべ 8	世話人の支援のあり方(現地実習)	各グループホーム
世話人内部研修	73	のべ 312	利用者の支援について個別支援計画等	各グループホーム
世話人外部研修	2	のべ 37	枚方市グループホーム世話人研修会	ラポールひらかた

(単位：人)

月日	研修内容(場所)	参加人数
11/30	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 グループホーム世話人研修会 テーマ「知的障害・発達障害の理解と支援について」 講師：元枚方市巡回相談員 杉浦 智子 氏	81

3/16	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 グループホーム世話人研修会 テーマ「グループホームの支援について」 講師：京都ライフサポート協会 理事長 樋口 幸雄 氏	85
合 計		166

23. 介護予防ポイント事業

地域で暮らす高齢者自らの社会参加を支援することにより、本人の介護予防や健康維持を図り、住み慣れた地域で心豊かに暮らせる地域社会の実現を図るとともに、地域の介護力を高めることを目的として、平成26年度から実施した。

今年度は4年目になり、引き続き新任サポーターの研修・登録を行い、サポーターと高齢者施設とのコーディネートを行った。今年から新規登録者を対象に（主に初心者）、先輩サポーターとの気楽な座談会「二葉の会」を開催して、実際のサポーター活動がどんな様子なのかを事前に知っておいてもらうようにした。

(1) 登録施設

特別養護老人ホーム（21か所）・デイサービス（47か所）・グループホーム（13か所）
介護老人保健施設（6か所） 合計87か所

(2) サポーター

登録者数 240人（男性38人・女性202人）
活動者数 185人（男性30人・女性155人）

(3) 研 修

①サポーター新任研修

新たにサポーターとして活動するための基礎知識や心構えなどについての内容を、新任研修として3回にわたり広報ひらかたにて募集を行い実施した。

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/24	ラポールひらかた 大研修室	【テーマ】 「サポーター活動とは」 【講 師】	43
7/24		京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科	19
10/23		社会福祉専攻 准教授 石井 祐理子 氏	21

②サポーター現任研修

サポーターの技能向上を図り、より一層の円滑な業務遂行に資することを目的に、現任研修として3回にわたり実施した。

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/12	ラポールひらかた 大研修室	【テーマ】「接遇について Part.2」 怒りの感情を理解する ～カチン むかつ もやもやとの向き合い方～ 【講 師】有限会社レイズ 増田 知乃 氏	86
8/28		【テーマ】「福祉の現場におけるレクリエーション」 【講 師】神戸医療福祉大学 教授 田島 栄文 氏	119
1/29		【テーマ】①「介護保険について」 【講 師】枚方市役所 長寿社会部 介護保険課 長谷川課長代理 他2名 【テーマ】②「施設での活動について」 グループ・ワーク（サポーター交流会）	80

③二葉の会

新規登録者（主に初心者）を対象に、現任サポーター（毎回2名）にお話をしてもらい、実際のサポーター活動の内容や現状を知ってもらうことを目的に、3回にわたり実施した。

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/7	特別会議室2	【座談会】現任サポーター2名に参加してもらい、「高齢者施設でのサポーター活動について」話をしてもらう。後半、質疑応答。	10
9/4			9
12/8			7

(4) ポイントの換金

ポイントはサポーターの活動1回（1日1時間以上）につき1ポイントを付与し、1ポイント200円、50ポイントを上限として、現金又は図書券・商品券と交換する。

2月末日をもって締め日とし、3月中に交換を終了した。

2.4. 成年後見等事業

日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）利用者のうち、契約時と比べて病状が進行し、判断能力がさらに低下した利用者を対象として、本会が成年後見人等となることにより、対象者の財産管理・身上監護を行う。

また、市民や関係機関を対象に、判断能力が低下してきた方の権利擁護について、各種相談を行った。（平成30年3月31日現在：受任件数 6件）

(1) 実施体制

法人後見担当者 1人 / 法人後見支援員 1人

(2) 相談件数と主な相談内容

- ・一般相談 24回（権利擁護全般、成年後見制度概要について）
- ・申立支援 17回（相談・訪問・フェイスシート作成等）

(3) 申立件数と受任件数

(単位：件)

年 度	申立	(審理取り下げ)	受任	死亡
26年度	3	※1	1	0
27年度	3	0	4	1
28年度	1	0	1	1
29年度	2	0	2	0
計	9	※1	8	2

※審理中本人死亡のため

平成29年度申立内容

(単位：件)

内 訳	後見申立	保佐申立	補助申立
認知症高齢者等	1	0	0
知的障害者等	0	0	0
精神障害者等	1	0	0

(4) 支援回数：387回（自宅・施設訪問、金銭の支払い業務、契約・解約手続、死後事務等）

(5) 研修・講演会：法人後見事業研修会の開催（組織会員研修会と合同開催）

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
11/16	ラポールひらかた 大研修室	「事例で学ぶ成年後見制度」 ～身近なあの人も成年後見人を？～ 講師：(有)たむらソーシャルネット 社会福祉士 田村 漢子 氏	74

(6) 法人後見事業審査委員会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/10	ラポールひらかた 研修室3	・被後見人の現状報告 ・対象者の審査	6
11/1	ラポールひらかた 集会室	・被後見人の現状報告 ・対象者の審査	6

25. 総合福祉会館管理運営事業

(1) 総合福祉会館の管理・運営

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、部屋の貸し出しを行い、市民活動やボランティア活動の支援を行った。

①開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日 数	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	347

②部屋別利用状況

1) 有料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	利用率(%)
研修室1	183	252	140	575	55.2
研修室2	248	243	126	617	59.3
研修室3	270	272	147	689	66.2
研修室4	237	265	144	646	62.1
集会室	227	275	151	653	62.7
和室	175	203	71	449	43.1
大研修室	236	296	101	633	60.8
保育室	162	127	22	311	29.9
作業室	140	150	51	341	32.8
日常生活訓練室	127	120	50	297	28.5
合 計	2,005	2,203	1,003	5,211	50.1

*利用率=利用回数/(開館日数(347)×3)×100

2) 無料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	利用率(%)
ミーティングルーム1	275	305	178	758	72.8
ミーティングルーム2	256	305	166	727	69.8
ミーティングルーム3	301	270	109	680	65.3
福祉団体共用ルーム	237	276	120	633	60.8
福祉情報製作室	135	89	5	229	22.0
録音室	33	39	0	72	6.9
合 計	1,237	1,284	578	3,099	49.6

*利用率=利用回数/(開館日数(347)×3)×100

3) 施設見学受入状況

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3
人数	0	0	0	0	0	0	49	0	0	79	0	0	128

4) 登録団体の状況

登録団体数	149団体
-------	-------

内、障害者団体 75団体、ボランティア団体 67団体、その他団体 7団体(法人団体等)

5) 温水プール事業 (H29年12月～H30年2月まで、空調工事のため休業)

a) 開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	25	25	25	21	25	25	24	25	0	0	0	26	221

b) 利用者の状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
大人	1376	1621	1881	2022	2248	1712	1348	1186	0	0	0	1243	14,637
子ども	340	425	568	896	797	335	252	196	0	0	0	333	4,142
高齢者	1784	1927	2035	1855	2174	2031	1785	1835	0	0	0	1482	16,908
障害者	1918	2040	2240	2005	2345	2170	1898	1872	0	0	0	1804	18,292
合計	5418	6013	6724	6778	7564	6248	5283	5089	0	0	0	4862	53,979

c) 利用者別利用率

(単位：人・%)

	大人	子ども	高齢者	障害者	合計
人数(人)	14,637	4,142	16,908	18,292	53,979
利用率(%)	27.1	7.7	31.3	33.9	100

d) 水泳教室開催状況

(単位：回/人)

教室	開催日程	開催回数	参加者延べ人数
障害者水泳教室	5月10日～6月21日	7	68組107
障害児親子水泳教室 (幼児)	5月12日～6月23日	7	70組140
	9月8日～9月29日	4	42組84
	3月2日～3月23日	4	39組78
障害児(者) 親子水泳教室 (小・中・高校生)	5月13日～6月24日	7	98組196
	9月9日～9月30日	4	46組92
	3月3日～3月24日	4	65組130
小学校低学年 水泳教室(障害児の部)	5月10日～6月21日	7	86
小学校高学年 水泳教室(障害児の部)	5月12日～6月23日	7	84
水泳教室 (障害者の部)	5月10日～6月21日	7	135
水中運動教室 (障害者の部)	9月6日～9月27日	4	58
	10月25日～11月8日	3	53
	3月7日～3月28日	4	84
高齢者 初級水泳教室	5月10日～6月21日	7	71

一般初心者水泳教室	5月12日～ 6月23日	7	25
中高齢者中級水泳教室 (クロール・背泳ぎ)	5月12日～ 6月23日	7	112
アクア ウォーキング教室	5月11日～ 6月22日	7	209
	9月 7日～ 9月28日	4	108
	10月26日～11月 9日	3	88
	3月 8日～ 3月29日	4	97
水中体操教室	5月11日～ 6月22日	7	209
	9月 7日～ 9月28日	4	118
	10月26日～11月 9日	3	87
	3月 8日～ 3月29日	4	101
水中アクアビクス教室	5月11日～ 6月22日	7	195
	9月 7日～ 9月28日	4	115
	10月26日～11月 9日	3	90
	3月 8日～ 3月29日	4	108
チャレンジ水泳	8月 2日～ 8月 4日	3	42
	3月28日～ 3月30日	3	42
リフレッシュ講座	4月 6日～ 4月27日	6	173
	7月13日～ 8月31日	7	198
スイミングセミナー	年間	6	89
合計		169	3,604

③福祉図書コーナーの運営

4階福祉図書コーナーに、福祉関係図書約4,900冊、ビデオ約900本、DVD約140本、その他関係資料を設置し、市民が自由に閲覧・視聴できるように管理運営を行っている。また、地域福祉情報の拠点として、福祉情報の収集・整理を行い、適切に市民に提供できる体制づくりを進め、市民から寄せられる多岐にわたる福祉情報に関する相談・質問に応じた。

*開所日時 月曜日～日曜日(第2日曜日、年末年始は休室) 午前9時～午後5時30分

*現在登録者数 1,336人(平成30年3月末日現在)

*おはなしサロン(6/17、12/16)

*啓発事業

手話講習会
体験教室(アイマスク・白杖・点字) } (ラポール福祉講座で詳細掲載)

*コーナー利用状況 (単位:人)

*ライブラリー利用状況 (単位:人/冊/本)

開所日数	来所者数	登録者数(新規)	書籍貸出数	ビデオDVD貸出数
347日	10,605	120	2,565	16

*相談利用状況(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:件)

来所相談件数	電話相談	相談総数
77	4	81

④車いす貸し出し状況

(単位:台・件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出台数(台)	16	7	10	9	10	16	15	26	22	13	13	15	172
貸出件数(件)	15	7	8	8	10	12	11	23	22	13	13	14	156

*車いす総保有台数 5台(自走車 3台、介助車 2台)

⑤各種相談事業の開催

*ふくし相談

高齢者の介護や障害を持つ方の生活問題等、福祉全般の相談に応じた。

- ・相談日時 月曜日(奇数週) 午後1時～4時 ・相談員(福祉相談員) 1人
- ・開設日数 25日 ・相談件数 0件

*会館相談

- ・相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分 ・相談員(会館職員)
- ・開設日数 244日 ・相談件数 13件

*心の健康相談

心の健康に関するさまざまな問題や不安等の悩みについて、精神保健福祉士及び臨床心理士が面接相談に応じた。

- ・相談日時 毎週金曜日 午後1時～4時 ・相談員 2人
- ・開設日数 49日 ・相談件数 50件

*父子家庭相談員設置事業

父子家庭が日常生活において直面する家事・育児・教育・経済問題などに対して、必要な情報提供、社会資源の活用など適切な助言を行い、父子家庭の福祉の増進を図ることを目的に相談に応じた。

(単位：人/件)

相談員数	相談件数	相談内容
8	7	・父子家庭での子育てについて ・生活問題、生活上の悩みについて

*要介護老人家族の相談員設置事業

寝たきりや認知症高齢者を介護する方の日常生活に直面する課題に対して、社会資源の活用など適切な助言を行い、要介護老人とその家族の福祉増進を図ることを目的に相談に応じた。

(単位：人/件)

相談員数	相談件数	相談内容
13	523	・日常の介護の悩みについて ・介護技術、介護用品、福祉サービスの利用等について

⑥各種事業の開催

*福祉講座

(単位：人)

月 日	内 容	参加者数 (延べ)
7/7～ 7/21 (毎金曜日)	◎いきいき講座 歌体操教室(全3回) 対象：60歳以上の方 「リズム・歌に合わせて体操」 講師：いきいき歌体操HANDひらかた 吉岡 京子 氏 他	101
7/26	◎子育て応援講座「出張美術講座」 対象：小学生とその保護者 「小物入れづくり(ペーパーカルトナージュ)」 講師：MIHO MUSEUM 学芸部教育普及担当 佐藤 実真 氏 他	49
1/19～ 2/16 (毎金曜日)	◎健康体操講座(全5回) 対象：60才以上の方 「ストレッチや簡単な筋トレで楽しく身体を動かします」 講師：健康運動指導士 康本 貞恵 氏	153

3/23	◎やさしい介護術 対象：介護に関心のある18才以上の方 「介護による精神的・肉体的負担の軽減」 講師：枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課 佐藤 照夫 氏 他	8
------	--	---

* 市民講座

(単位：人)

月 日	内 容	参加者数 (延べ)
5/12～6/30 (毎金曜日)	◎ヨガ教室(全8回) 対象：初心者で40才以上の方 講師：NPO法人日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	151
5/23～7/11 (毎火曜日)	◎太極拳教室(全8回) 対象：初心者で50才以上の方 講師：大阪武術太極拳連盟 普及指導員 岸本 康宏 氏	138

* ボランティアセンターとの共催事業 (ボランティア活動推進事業で記載)

(福祉図書コーナー啓発事業)

(単位：人)

月 日	内 容	参加者数
7/27	◎「親子福祉体験教室」 対象：小学生とその保護者 「当事者の話やアイマスク、白杖、点字等の体験を行う」 講師：図書コーナースタッフ	6家族 14
2/21 28	◎「手話講習会」 対象：手話に関心のある18才以上の方 「簡単なあいさつやこれから手話を習いたいという方への入門編」 講師：図書コーナースタッフ	14 11

* ラポールいこいのミニライブ開催状況

グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブを開催し、市民交流の場と位置づける。また、総合福祉会館の啓発を行い、新たな利用者の発掘を行う。

(開催状況) ※会場は1階正面玄関エレベーター前で開催。

月	回数	内 容
4	2	ハーモニカ演奏・歌とキーボード演奏とオカリナ演奏
5	2	ギター演奏・歌とギターとマンドリン演奏
6	3	キーボード弾き語り・ギター演奏・クロマチックハーモニカ演奏
7	3	歌とギターとウクレレとハーモニカ演奏・オカリナ演奏・ウクレレ演奏
8	3	キーボード弾き語り・ハワイアン音楽・ウクレレ演奏
9	3	ギター演奏・フォークポップス演奏・和洋ポップス演奏
10	3	フォークソング・クロマチックハーモニカ演奏・口笛と語り
11	3	歌とハーモニカ演奏・マンドリン演奏・新舞踊
12	3	ポップス軽音楽・キーボード弾き語り・ハンドベル演奏
1	3	ギター演奏・キーボードとバイオリンとギター演奏・フラダンス
2	2	鼻笛とオカリナ演奏・クロマチックハーモニカ演奏
3	3	キーボード弾き語り・歌声喫茶・歌とキーボード演奏

⑦運営委員会開催状況

(単位：人)

月 日	内 容	出席者数
10/18	・委員の紹介について ・平成29年度総合福祉会館上半期の運営状況について 他	15
3/20	・平成29年度総合福祉会館下半期の運営状況について ・会館アンケート集計報告 ・第1回運営委員会での懸案事項について ・平成30年度事業計画(案)について 他	14

⑧研修事業の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

(単位：人)

月 日	内 容	参加者数
6/11	温水プールスタッフ研修	18
7/31	接遇・人権研修	40
12/15	温水プール警備員研修	9
2/17		14
3/19	普通救命(AED)講習会	14